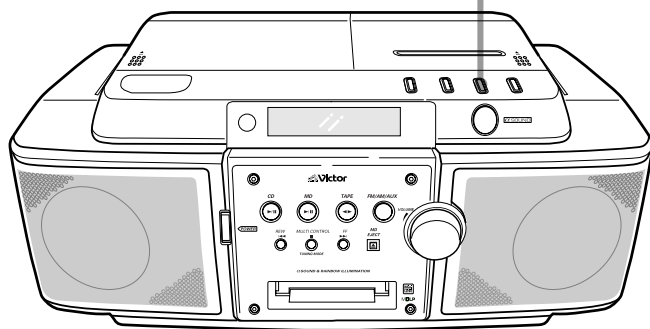
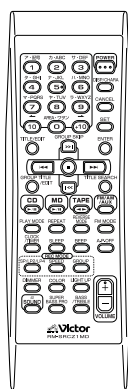
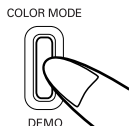
CD-MDポータブルシステム

型名 RC-Z1MD RC-ZX25MD

● デモ表示について

電源コードを接続すると、表示窓のデモ表示が自動でスタートします。デモ表示に入らないようにするときは、電源「切」のときCOLOR MODE/DEMOボタンを２秒以上押してください。

詳しくは15ページをご覧ください。

MDLP

ーお買いあげありがとうございますー

● もくじは2ページにあります。

⚠ご使用の前に

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3〜6ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

(Clavia とは、ドイツ語の「鍵盤楽器」の意からの造語です)

LVT0966-001H

もくじ

お使いになる前に　ページ

準備　ページ

聞く　ページ

録音する(MD、テープ)　ページ

編集する(リモコンを使います)　ページ

オートパワーオフ・タイマーを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

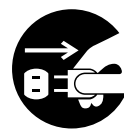
行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

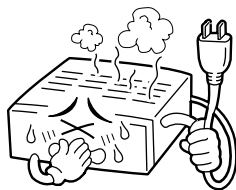
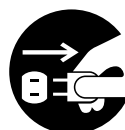
行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

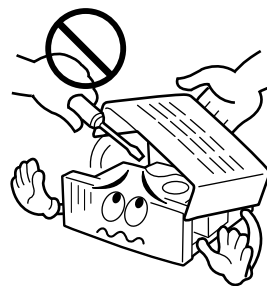
- 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

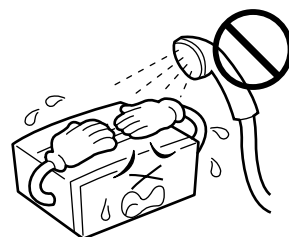
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

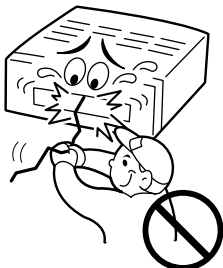
火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

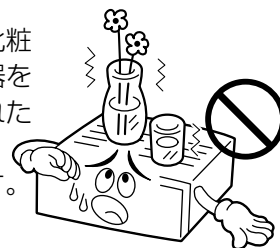
分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

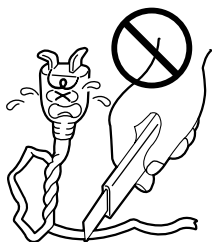
水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

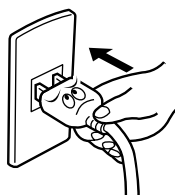
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

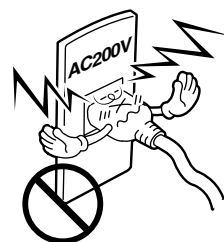
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

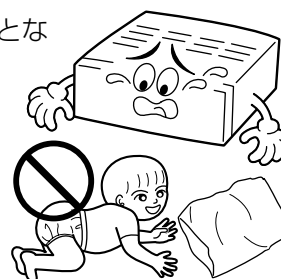
差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

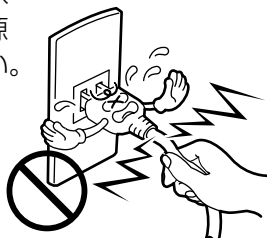
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

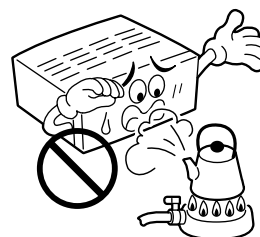
本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

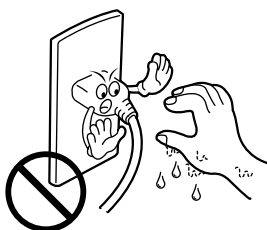
電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本機の上に重い物を置かない。

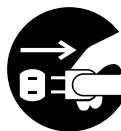
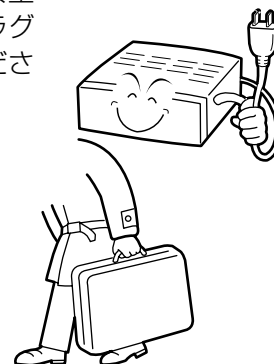
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

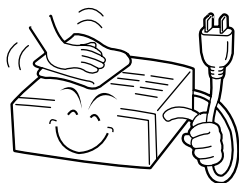
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10㎝以上離す

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

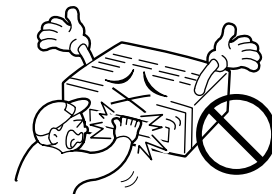
電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

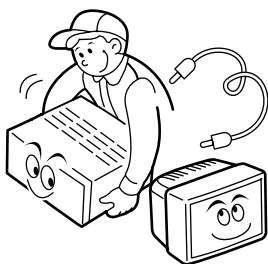
お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

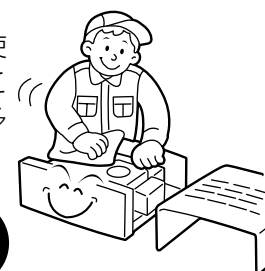
ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

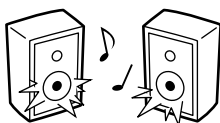
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

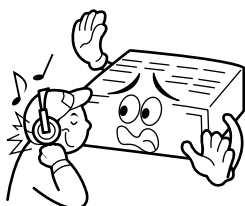
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

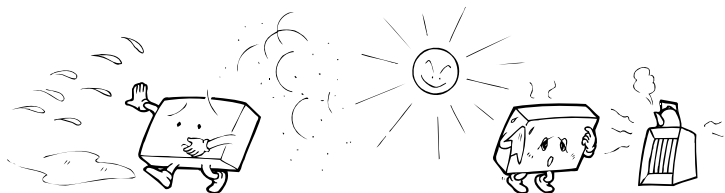
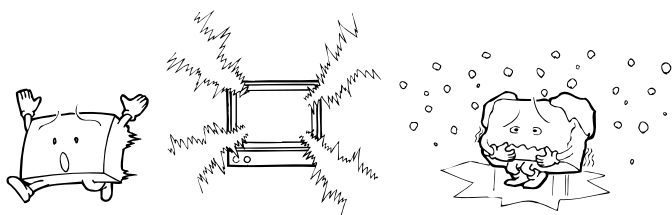
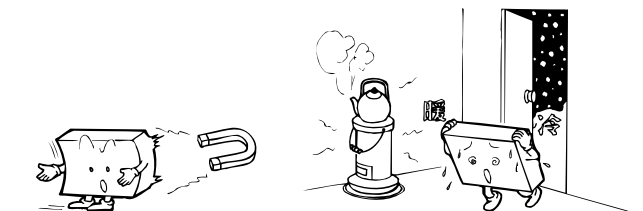
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、リモコンの内部についた液をよく拭きとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

本機やテープ、CD、MDの置き場所について

●故障などを防止するため次の場所は避けてください。

・湿気やほこりの多い所　・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所
・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA機器やけい光灯のすぐそば
・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

カセットテープ使用上のご注意

●C-120やC-150などのカセットテープは、長い時間録音や再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。使用しないでください。

カセットデッキについて

本機はノーマルテープ（TYPE I（タイプ））の録音･再生ができます。ハイポジションテープ（TYPE II）とメタルテープ（TYPEⅣ）には対応しておりません。ハイポジションテープやメタルテープを使用しますと、音質が異なったり前の音が消えないで残るなどの原因になります。

ヘッドホンについて

●ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

■ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

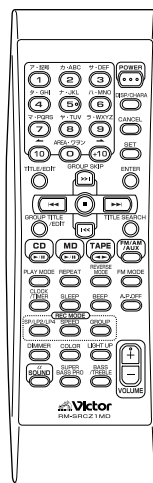
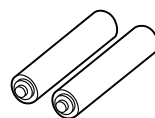
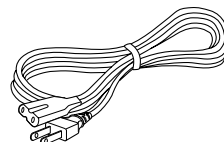
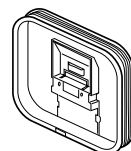
露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いてCDやMDが正しく演奏できない場合があります。

●暖房を始めた直後
●湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
●冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

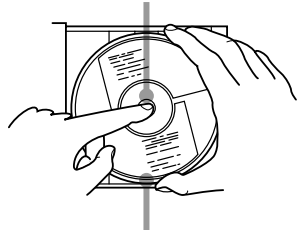
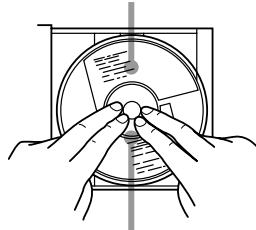
電源を入れたまま、約1～2時間待ってからお使いください。

付属品の確認

お使いになる前に付属品をお確かめください。

リモコン
RM-SRCZ1MD
（1個）

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

AMループアンテナ
（1個）

CDについて

CDの取り扱いかた

● ケースからの出し入れ

● CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
● CDは曲げないでください。

● 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。

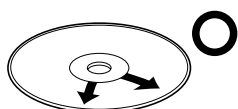
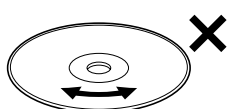
● ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

● 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
● CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
● ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
● 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
● MP 3 には対応しておりません。

CDのお手入れ

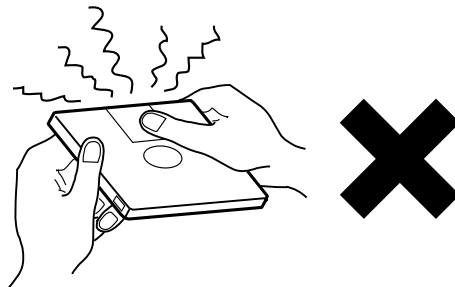
演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

● シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

MDについて

MDの取り扱いかた

シャッターは開けないで

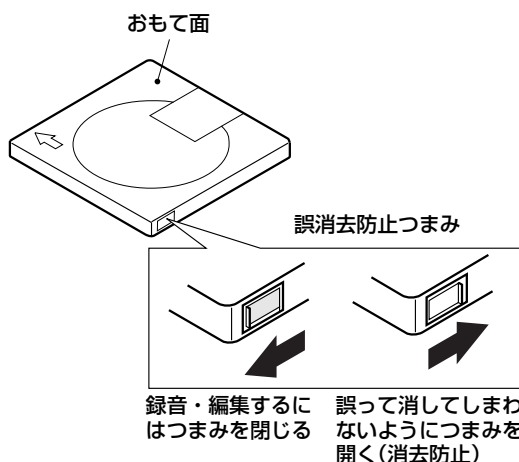
シャッターは開かないようにロックされています。無理に開けようとするとディスクがこわれます。

置き場所に気をつけて

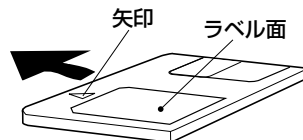
次のようなところには置かないでください。
・直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
・風呂場など湿気の高いところ
・海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ
ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

定期的にお手入れを

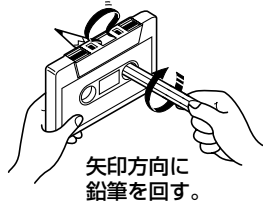
カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

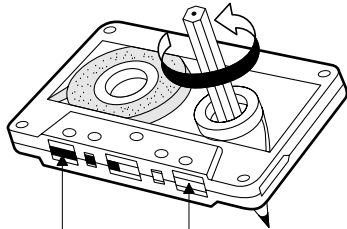
大切な録音を消さないために

録音用MDには､大切な録音を間違って消さないための､誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

〈お知らせ〉

● 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
● MDは▷などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

カセットテープについて

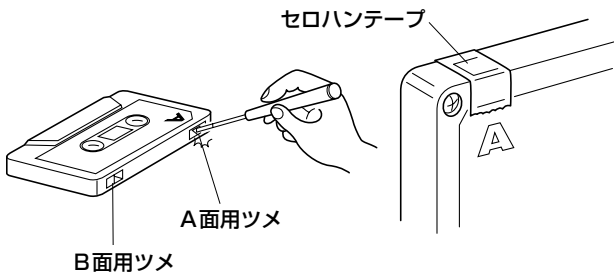
カセットテープの取り扱いかた

- テープに**たるみ**がありますと、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにして**たるみ**を取り除いてください。
- テープを引き出したり、テープ面にふれないでください。

矢印方向に
鉛筆を回す。

- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**
  長い時間録音や再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。
- **リーダーテープについて**
  テープの始まりと終わりには、録音できない部分…リーダーテープ…があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。

大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ（タブ）がついています。

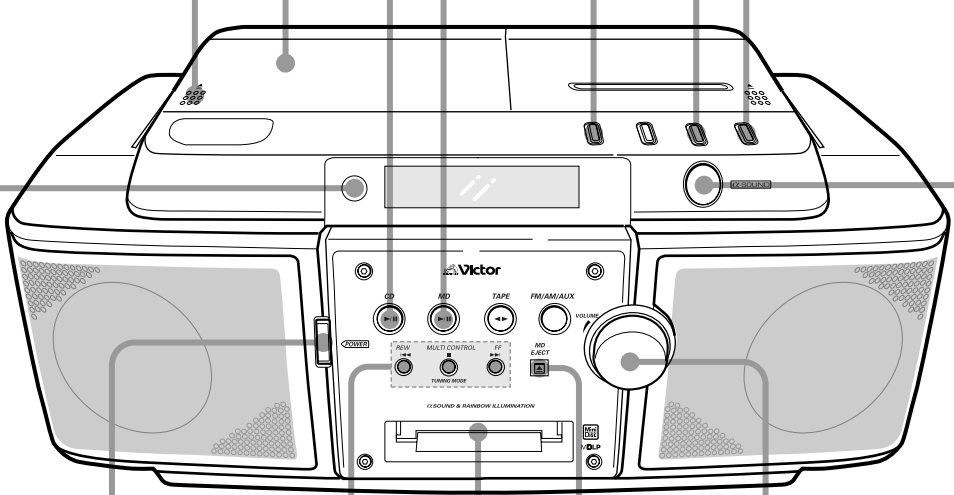
- **ツメを折っておくと録音（消去）ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。**
- **再び録音したいときはツメの穴をセンロハンテープなどでふさぎます。**

ご注意

- ハイポジション（TYPEⅡ）やメタルテープ（TYPEⅣ）に対応しておりませんので、使用しないでください。
  再生しても正しい音質にはなりません。

各部の名前 ー❏内の数字のページに説明があります。ー

本体部

	「CD」/「MD」のとき
◄◄と►►❘	曲の頭出し、早送り/早戻し 24
■	CD停止/MD停止 24

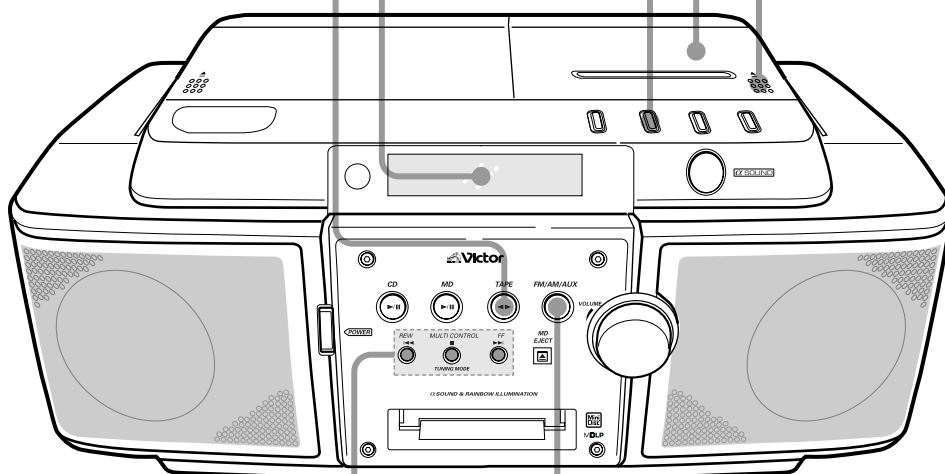
本体部

TAPE（テープ） ◀▶ボタン⑳㉚
ソース（音源）を「TAPE」にしたり、テープの走行方向を変えることができます。電源を入れることもできます。

TAPE（テープ） REC（レック）ボタン㊲
テープに録音するとき使います。

カセットホルダー㉚
ここを開けてカセットテープを入れます。

表示窓（ディスプレイ）
⑫ページをご覧ください。

▲（テープ取出し）部 ㉚
カセットテープを出し入れするとき、この部分を押します。

FM/AM/AUXボタン ⑳㉒㉛
ソース（音源）を「放送（ラジオ）」または「AUX」にすることができます。
押すごとに
FM➡AM➡AUX（➡FMに戻る）と選べます。
電源を入れることもできます。

MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）ボタン
ソース（音源）によって働きが異なります。

	⏮ と ⏭	■
テープ（TAPE）のとき	巻戻し（REW（リワインド））と早送り（FF（ファーストフォワード）） ㉚	テープの停止㉚
放送（ラジオ）のとき	マニュアル選局／プリセット選局 ㉒	TUNING（チューニング） MODE（モード）（マニュアル選局とプリセット選局の切換 ㉒）

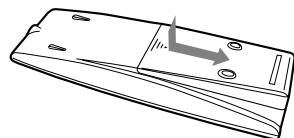
各部の名前(つづき) —□内の数字のページに説明があります。—

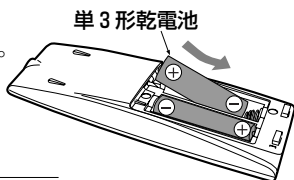
表示窓(ディスプレイ)

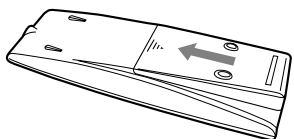
リモコン（RM-SRCZ1MD）

説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

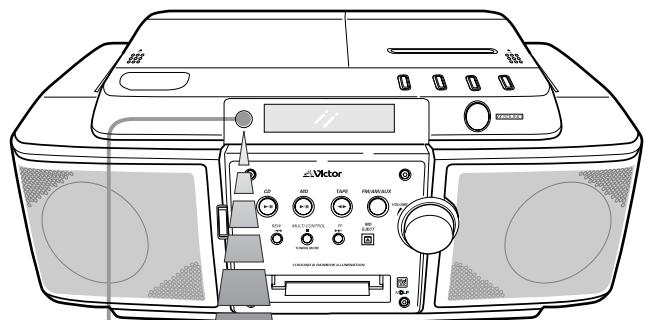
リモコンの乾電池の入れかた

1 裏ブタを開ける

2 乾電池を入れる

単３形乾電池を２本入れます。リモコン内部の表示に極性（＋、－）を合わせて正しく入れます。

3 裏ブタをしめる

矢印の方向に戻します。

〈お知らせ〉

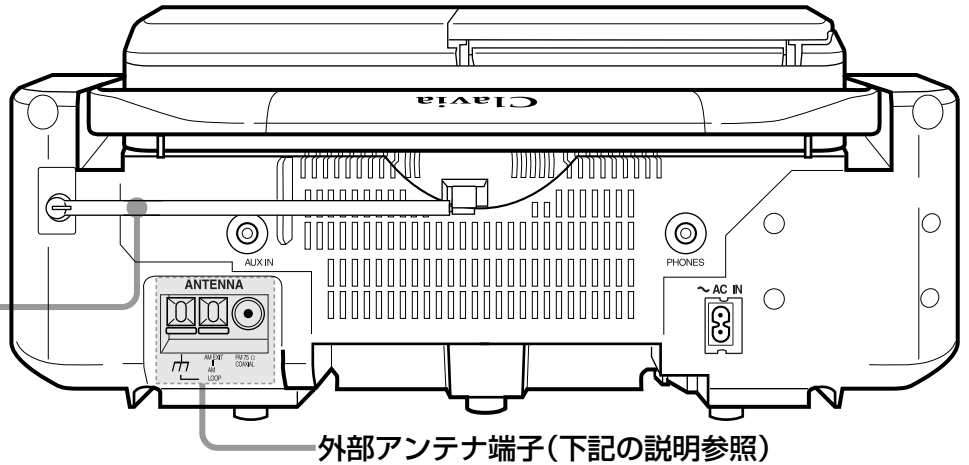
- リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗してきています。
  ２本とも新しい電池（単３形アルカリ乾電池など）に交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。
  乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、リモコン内部の表示通り正しく入れてください。

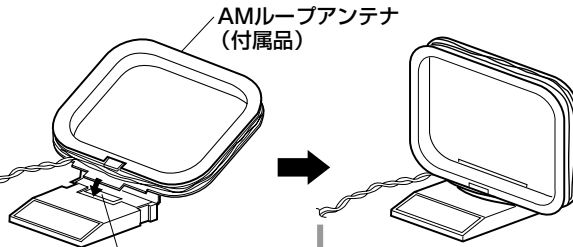
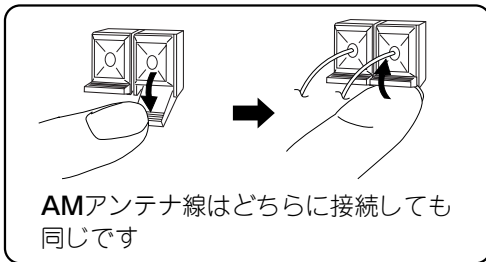
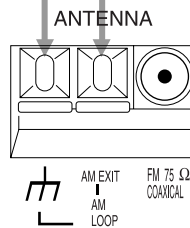
● リモコン操作のしかた

- リモコンを落としたり､強い衝撃を与えないでください。
- 他のラジオにノイズ（雑音）が入るときは、離してお使いください。
- 次のような状態で使用しないでください。動作しないことがあります。
  - ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき。
  - ・リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げる物があるとき。

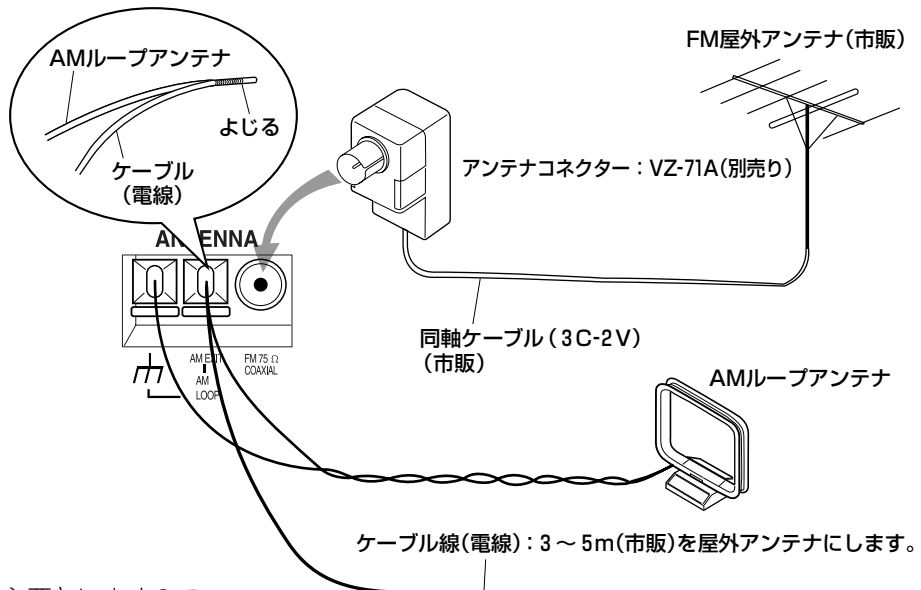
接続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

アンテナの接続と調節

〈お知らせ〉
- アンテナを接続しないと、AM放送を聞くことはできません。
- AMループアンテナは、金属製の机の上やパソコン、テレビなどの近くに置かないでください。受信状態が悪くなります。

ロッドアンテナ（FM放送用）
伸ばして最も良く受信できるように長さ、角度を調節します。

● 付属のアンテナの接続と調節

アンテナ線の先端にビニールが付いているときは、**ねじりながら抜き取ります**

・本体からできるだけ離し、左右に回してみて最も良く受信できる所に置きます。（束ねてある線はよく伸ばして使ってください）

AMアンテナ線はどちらに接続しても同じです

● 屋外アンテナの接続

・FM放送の場合、ロッドアンテナでは雑音が多くて聞きにくいときは、市販の屋外用のFMアンテナを使います。
マンションなどでは、壁の共聴アンテナ端子も利用できます。
・AM放送の場合、市販のケーブル（3～5mの電線）を使います。

・AMループアンテナも一緒に接続しておきましょう。
ケーブル（電線）は、窓際や屋外になるべく高く水平に張ると効果的です。

〈お知らせ〉
- 屋外アンテナの設置は、技術と経験を必要としますので詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 電波状態によっては、FMフィーダーアンテナ：CN-511A（別売り）がアンテナコネクターと一緒にご利用になれます。
- アンテナを接続したら、コードを引いてみてしっかり接続されているか確認してください。

他の機器、電源コードの接続

ステレオミニプラグ

接続コードCN-201A（別売り）
ポータブルMDプレーヤー（別売り）などと接続するときは、CN-203A（別売り）を使います。

L
R
または

市販のレコードプレーヤーなど
（イコライザーアンプ内蔵タイプ）

オーディオミキサーMI-A40（別売り）
例：マイクを使うとき

AUX IN
ANTENNA
PHONES
～AC IN

PHONES端子
市販のヘッドホンをつなぎます。
プラグを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

すべての接続が終わったら…

1 AC IN 端子へ差し込んでから…

付属の電源コード
または別売りの電源コード
CN-325A

AC100V
50Hz/60Hz

2 家庭用コンセントへ

〈お知らせ〉

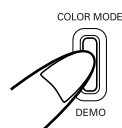
- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：**CN-325A**をお買い求めください。
- 長時間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。
（電源が切れていても、電源コードが接続されていると約0.9Wの電力を消費します）

ご注意

- **本機を持ち運びするときは**
電源コードやアンテナ線、他の機器との接続コードを事前に外し、ハンドルを持って運んでください。
特に屋外用のFMアンテナを接続しているときは、ご注意ください。
- 20分以上の停電や電源コードがコンセントから抜いてあると、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

表示窓のデモ表示について

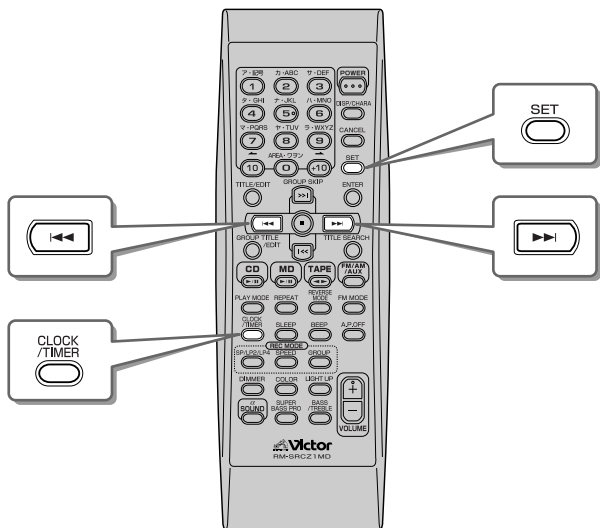
本機ではデモ表示機能があり、電源コードを接続すると自動でDEMO STARTが表示され、前面パネルの照明が順に変化し、その色が表示窓に表示されます。なお、デモ表示中でも本機の操作はできます。

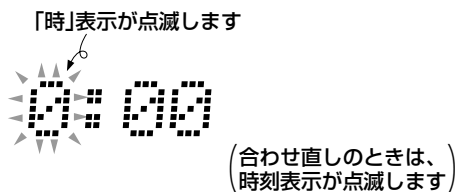
- **デモ表示を解除するには**（電源「切」のとき）

・押すごとに「OFF⟺START」が選べます。

デモモードを「オフ」にしたとき（デモ表示には入りません）

- **デモ表示の動作に入らなくするには**

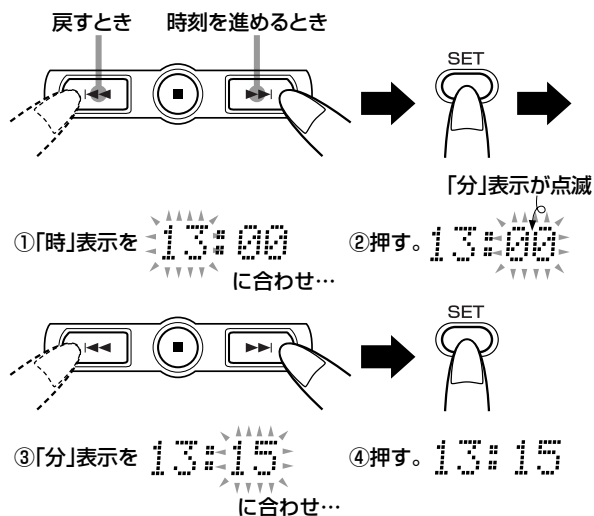
1. POWERを押して電源を「切」にする
2. COLOR MODE/DEMOを2秒以上押す
   - 「DEMO CLEAR」が表示され、電源コードを抜き差ししてもデモ表示には入らなくなります。
   - 元に戻すときは、もう一度同じ操作をします。

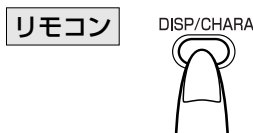
時計を合わせる(現在時刻の設定)

● 例：午後１時15分(13：15)に合わせるには…

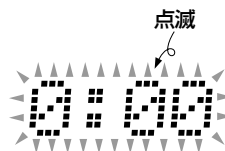
1 CLOCK/TIMER **を押す**

2 ▶▶|(または|◀◀)➡SET **で時刻を合わせる**(本機の時刻は「24時間表示」方式です)

・▶▶|(または|◀◀)は、押し続けると連続して変わります。

● 正確に時刻を合わせるには

テレビの時刻表示や電話の時報サービス等を利用してください。時刻を合わせ直すときは、リモコンのCLOCK/TIMERを４回押したあと上記の**2**の操作をします。

● 使用中に時刻を知るには…(MDが入っていないとき)

リモコンのDISPLAY/CHARAを押します。元の表示に戻すときは、もう一度「ポン」と押します。

・MDデッキにMDが入っているときと、いないときで表示の順番が異なります。➡㉕ページ参照

● 20分以上の停電や電源コードが抜いてあったときは…

時刻表示が取り消され0:00表示の点滅に戻ります。このようなときは、左記**1**〜**2**の操作で時刻を合わせ直してください。

〈お知らせ〉

- 電源「切」で時計を合わせたときは、設定が終わると現在時刻の表示になります。
- 「分」表示を合わせているとき、リモコンのCANCELを押すと「時」表示の点滅に戻せます。「時」表示を修正することができます。
- 時計を合わせておくと、タイマーを利用することができます。合わせないとタイマーが利用できません。
- 時計の精度は…
  月に１分程度のズレを生じます。タイマーをお使いになるときは、時々時刻を合わせ直してください。

市外局番で放送局を記憶させる（エリアガイド機能）

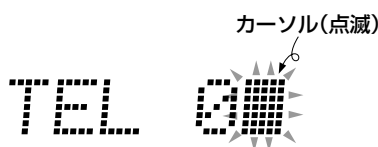
● 市外局番を入力するだけで、あなたの地域で受信できる放送局が自動で記憶（メモリー）させることができます。

1 FM/AM /AUX を押す

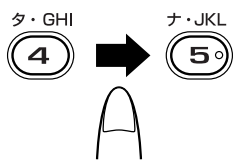
・電源が入り、バンド表示されます。
（FMまたはAMのどちらでもかまいません）
・「AUX」が表示されたときは、もう一度押します。

2 AREA・ワヲン 0 を押す

カーソル（点滅）

TEL 0

14秒以内に

3 市外局番の残りの数字を数字ボタン（1～9、0）で入力する

例：市外局番が045の場合は 4 と 5 を押す。

・押した数字（例のときは045）が表示窓に表示されます。

14秒以内に

4 SET を押す➡メモリー開始

・放送局名を表示しながらAM➡FMの順に周波数の低い放送局からメモリーしていきます。メモリー数は、AM放送が最大15局、FM放送が最大30局までです。
・メモリーが終了すると、操作を始めたバンドの最初の放送局を受信し局名を表示します。

● **市外局番は…**
あなたのお住まいの地域のAM放送を、本機から呼出し、メモリーするために使います。別の市外局番を入力すると、その地域のAM放送になります。

● エリアガイド機能によりAM放送は、本機に内蔵されている放送局（56～57ページ参照）を呼出してメモリーします。
FM放送は、市外局番03と06を入力したとき以外はあなたの地域で受信できる放送局を76.0～90.0MHzの間で自動選局し、メモリーします。
市外局番03と06の場合、本機に内蔵されている放送局（03は12局、06は７局）を呼出してメモリーします。

● **市外局番を間違えたときは…**
左記**2**～**4**の操作をやり直してください。

● **メモリー後FM放送が76.0MHz以外表示されないときは…**
放送局がメモリーされておりません。受信状態の良い所にアンテナを設置してから操作し直してください。

● **市外局番が５ケタまたは６ケタ地域の場合…**
頭から４ケタを入力し、SETを押してください。

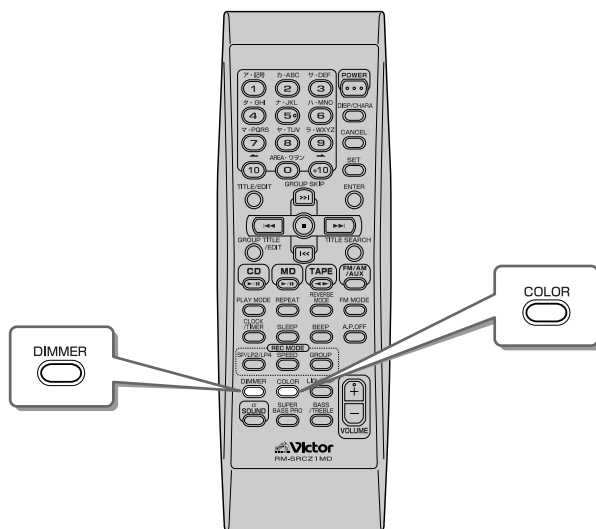
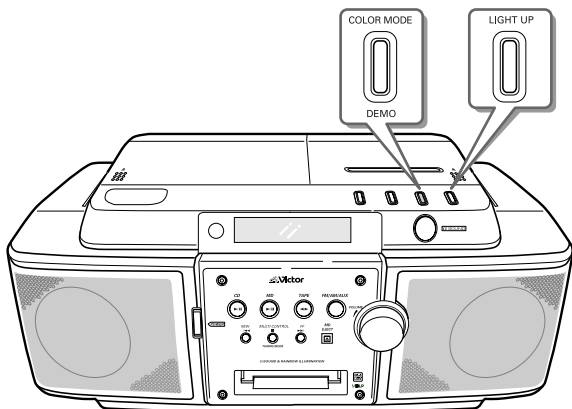
● **市外局番が変更になったときは…**
変更される前の市外局番を入力し、SETを押してください。

● **近隣の別のAM放送の方がうまく受信できる地域の場合…**
聞きたい放送の地域の市外局番を入力してください。

● 電波事情や地域によっては、エリアガイド機能で記憶されるよりご自分で選局する方が良好に受信できることもあります。このようなときは、その放送局を選んで記憶させてください。➡23ページ参照

〈お知らせ〉
● 電源コードを抜いた状態（または停電）が24時間以上続くと、記憶された放送局は取り消されます。電源コードを接続（または停電が復旧）したらエリアガイドによる記憶の操作をし直してください。
● エリアガイドによる放送局名表示は、コミュニティFM放送局には対応しておりません。

照明を調節する

本機は、前面パネルの照明(レインボーイルミネーション)を選ぶことができます。
・**電源が「入」の状態で操作します。**

照明のパターンまたは色を選ぶ

1 COLOR ◯**を押す**

現在設定している色のパターン名が表示窓に表示されます。
- ボタンを押すごとに右のように切り換わります。パターン名を選ぶと、約2秒でもとのソース(音源)の表示に戻ります。
- 本体の色によって2種類のカラー配列があります。
- 本体のときは、COLOR MODE/DEMOを使います。

- RC-Z1MD-S (シルバー)
- RC-Z1MD-W (ホワイト)
- RC-Z1MD-P (ピンク)
- RC-ZX25MD-A

の場合

→ RAINBOW(レインボー):七色の虹をイメージした照明
↓
AQUA(アクア):水をイメージした照明
↓
TROPICAL(トロピカル):熱帯の草花をイメージした照明
↓
CANDLE(キャンドル):ろうそくの光をイメージした照明
↓
COLOR OFF:照明なし
↓
SPARKLE(スパークル):火花をイメージした照明
↓
MARINE(マリーン):海をイメージした照明
↓
FLORAL(フローラル):花をイメージした照明
↓
GREEN(グリーン):緑色の照明
↓
BLUE(ブルー):青色の照明
↓
PURPLE(パープル):紫色の照明
↓
PINK(ピンク):ピンクの照明

● **表示窓と前面パネルの明るさを変える(ディマー機能)**

リモコンのDIMMERボタンを押すごと

通常の明るさ
↕
暗い

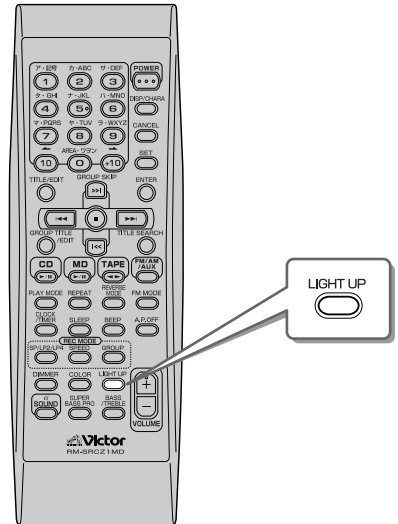
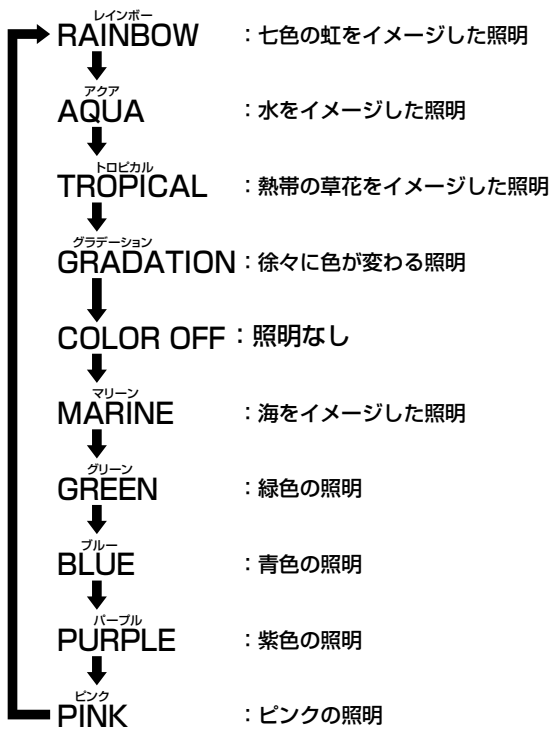
に表示窓と前面パネルの明るさを変えることができます。

ご注意

- 設定した照明の色は、いつも正確に同じ色になるとは限りません。本機の使用環境(室内温度など)や長期間の使用による変化などのため、色合いが異なって見えることがあります。
- ディマー機能と合わせて使う場合、同じ設定でも多少異なった色合いに見えることがあります。

電源「切」のときライトアップする

選ばれている照明の色で前面パネルが光ります。
おやすみになるときなど、部屋のライトアップに使うと便利です。

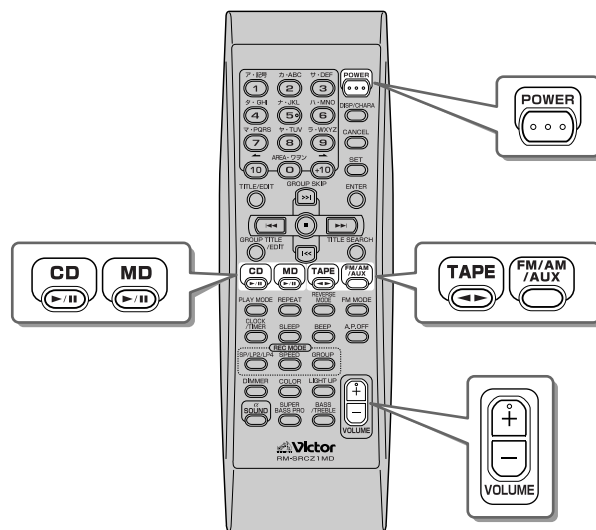
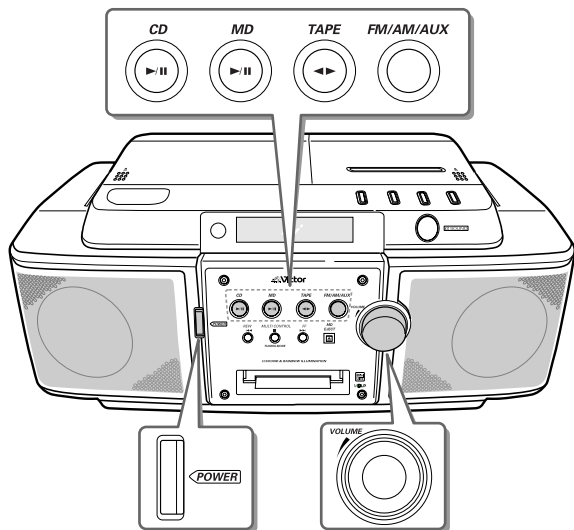
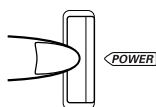
準備

1 LIGHT UP を押す

～ページで選んだ照明の色で光ります。もう一度押すと、照明が消えます。

〈お知らせ〉
- 電源「入」のときは機能しません。
- 「COLOR OFF」を選んでいるときは光りません。

- RC-Z1MD-B(ブラック)の場合

〈お知らせ〉
- レインボーイルミネーションを消したいときは、「COLOR OFF」を選んでください。

簡単操作（電源の入/切、イチ押しプレイ）

1 POWERを押す

本　体　　リモコン

・電源が入り、「HELLO」が表示されたあと選ばれているソース（音源）が表示されます。
・CD▶/Ⅱ、MD▶/Ⅱ、TAPE◀▶、FM/AM/AUXのいずれかを押したときも電源が入り、ソース（音源）も変わります。
➡イチ押しプレイといいます。
（ディスクやテープが入っていたときは、演奏が始まります）

2 聞きたいソース（音源）を選ぶ

	操　作	参照ページ
CDを聞く	CDを入れ、CD▶/Ⅱを押す	24
MDを聞く	MDを入れ、MD▶/Ⅱを押す	24
テープを聞く	テープ入れ､TAPE ◀▶を押す	30
放送を聞く（ラジオ）	FM/AM/AUXを押して聞きたい放送局を選局する	22
他の機器の音声を聞く	レコードプレーヤーなどをつなぎFM/AM/AUXを押してAUXを選ぶ	31

3 VOLUMEで音量を調節する

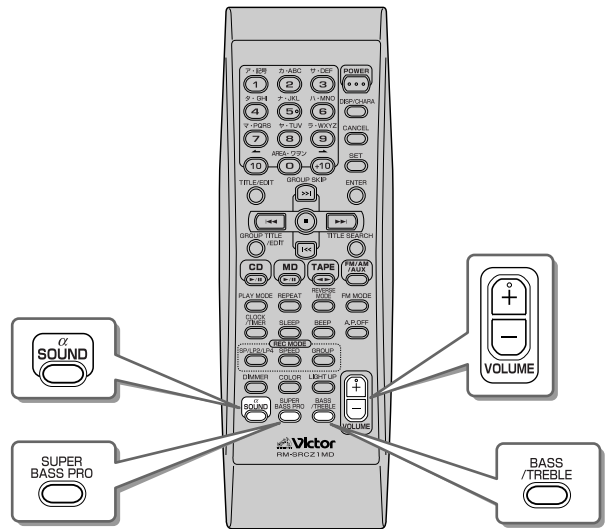
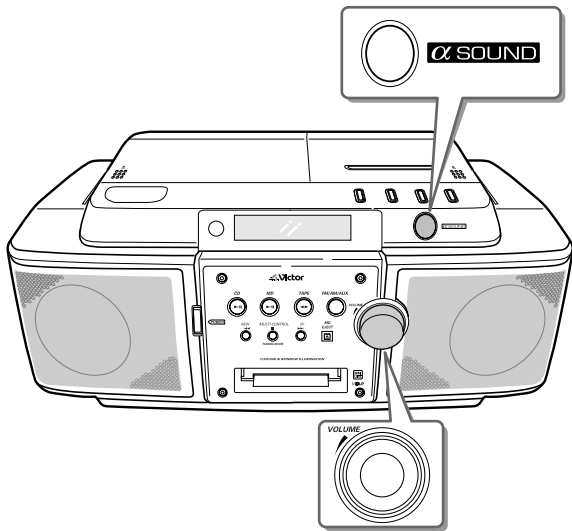
本　体　　リモコン

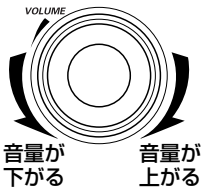
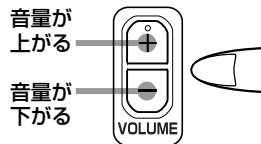
・リモコンの場合、＋側を押すと音量が上がり、－側を押すと下がります。
・VOLUME 0 ～35までの範囲で調節できます。
詳しくは21ページをご覧ください。

●使い終わったら…
POWERを押して電源を「切」にします。
「SEE YOU」が表示されたあと表示窓に現在時刻が表示されます。

〈お知らせ〉
●電源「切」のときMD EJECT▲を押すと、電源が入りMDが入っていたときは出てきます。
●電源「切」のときは、消費電力を抑えるためMDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。

＊以後、本書では主にリモコンを使った操作を説明します。本体のボタンで、リモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。
また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

音量・音質の調節

● 音量の調節

本　体

リモコン

・VOLUME 0 ～35までの範囲で調節できます。
（お買い上げ時はVOLUME14です。音量を調節すると表示窓に約２秒間表示されます）

● αサウンド*の「オン／オフ」

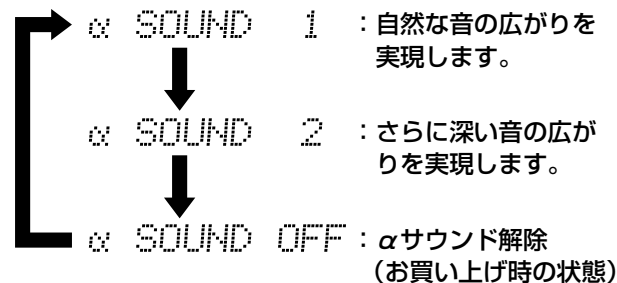
αSOUNDを押して「オン」にすると表示窓に α SOUND が表示され、ひろがりのある音が楽しめます。

本　体

リモコン

α SOUND 1 ：自然な音の広がりを実現します。

α SOUND 2 ：さらに深い音の広がりを実現します。

α SOUND OFF ：αサウンド解除（お買い上げ時の状態）

＊αサウンドとは

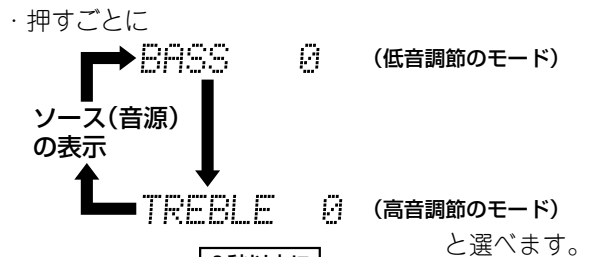
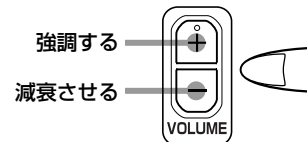
α波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのαDIMENSION SOUNDは、サウンド回路の要である左右差信号（L−R間接音）にα波周波数でゆらぎを与え（これをLFO変調といいます）、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

● 音質の調節（リモコンのみ）

1 BASS/TREBLE を押す

・押すごとに

と選べます。

3秒以内に

2 を押して音質を調節する

・低音／高音とも０±６の範囲で調節できます。
・調節から３秒後に元のソース（音源）の表示に戻ります。

● スーパーバスプロの「オン／オフ」（重低音の切換）

リモコン

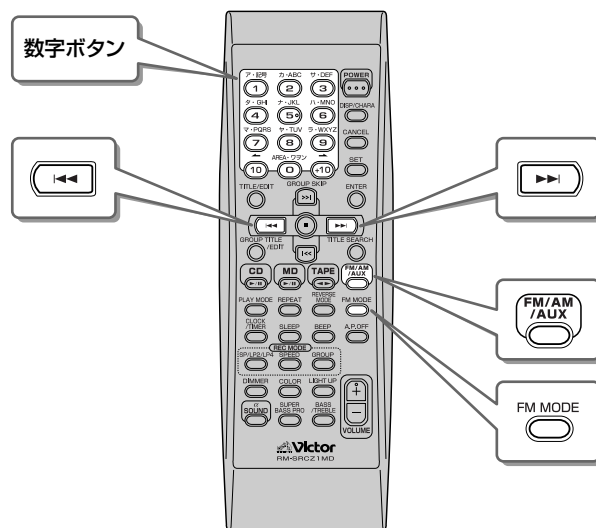
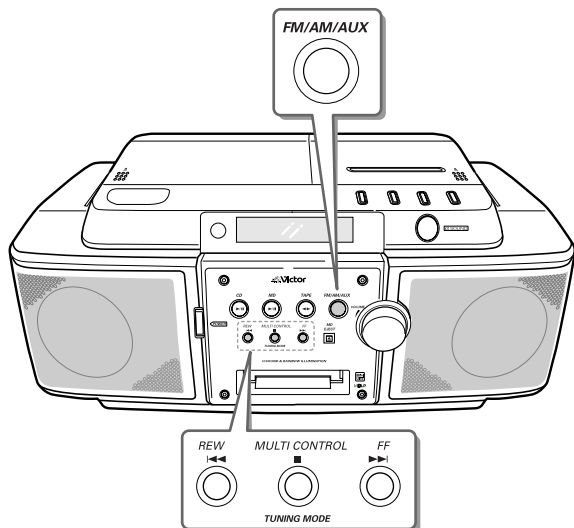
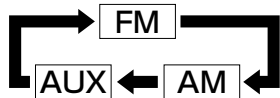
SUPER BASS PRO

・押すごとに「オン⟷オフ」が選べます。
「オン」にすると表示窓に BASS が表示され、メリハリの効いた重低音が楽しめます。（お買上げ時の状態）

〈お知らせ〉

● 音量や音質調節は、スピーカーの音声やヘッドホンの音声に効きます。録音される音には、影響ありません。

聞く

放送（ラジオ）を聞く

1 FM/AM /AUX を押してFMまたはAMを選ぶ

・電源が入り、押すごとにバンドまたは「AUX」が選べます。
・FMまたはAMを選ぶとソース（音源）は「ラジオ」になります。

2 選局する

2-A 放送局が記憶（メモリー）してあるとき（プリセット選局といいます）

リモコン

● リモコンの数字ボタン（1～10、+10）でダイレクト選局する

1～10のプリセット番号を選局するとき

数字ボタンの1～10のいずれかのボタンを押します。

11以上のプリセット番号を選局するとき

P15を選局　：+10 ➡ 5

P20を選局　：+10 ➡ 10
と押します。

21以上のプリセット番号を選局するとき

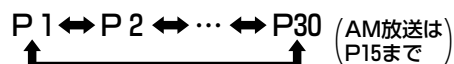
P25を選局　：+10 ➡ +10 ➡ 5

P30を選局　：+10 ➡ +10 ➡ 10
と押します。

本　体

● 本体のときは、TUNING MODEを押してPRESET（プリセット）を表示させFF（またはREW）を押して選局する

（AM放送はP15まで）

2-B リモコンの▶▶I（またはI◀◀）を押して選局する

● 本体のときは、TUNING MODEを押してMANUAL（マニュアル）表示にしたあとFF（またはREW）を押して選局する

2つの選局方法があります。

オート選局：▶▶I（またはI◀◀）を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。
十分に電波の強い放送局を受信すると自動で止まります。
途中で止めるときは、▶▶I（またはI◀◀）を「ポン」と押します。

マニュアル選局：▶▶I（またはI◀◀）を押すごとに周波数が変わります。▶▶Iを押すと周波数が上がり、I◀◀を押すと下がります。
押すごとにFM*は0.1MHzずつ、AMは9kHzずつ変わります。

・FMステレオ放送を受信すると、ST（STEREO（ステレオ））表示が点灯します。
・電波が弱く、オート選局が自動で止まらないときはマニュアル選局に切り換えてください。

＊テレビの1～3チャンネルは、周波数が合わないためうまく受信できません。これはテレビ音声が50kHz間隔のためで、故障ではありません。

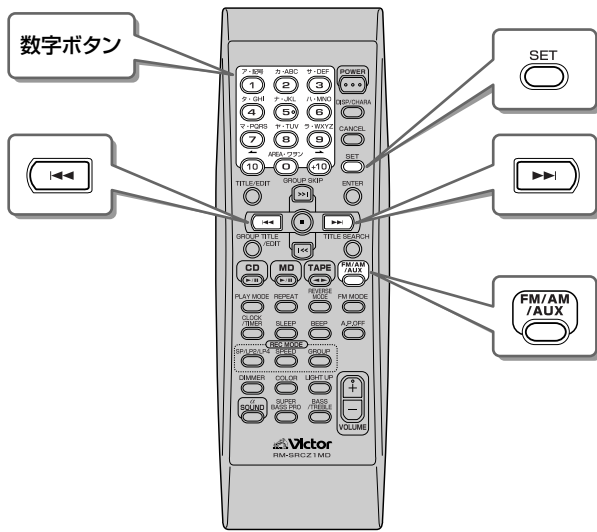
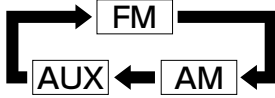
● FM放送を聞くときは

通常は「オート受信」の状態で使います。FMステレオ放送を受信すると、表示窓に“ST”が表示されステレオで聞くことができます。雑音が多くて聞きにくいときは、リモコンのFM MODEを押して“MONO”表示（モノラル受信モード）に切換えてください。

リモコン

・押すごとに変わります。

放送局を選んで記憶させる(リモコンのみ)

エリアガイド機能を使って記憶させたあと、最大FMは30局、AMは15局までバンドごとに放送局がプリセットできます。

1 FM/AM/AUX を押してFMまたはAMを選ぶ

・電源が入り、押すごとにバンドまたは「AUX」が選べます。
・FMまたはAMを選ぶとソース(音源)は「ラジオ」になります。

2 ▶▶I(またはI◀◀)で記憶したい放送局を選局する

➡22ページ「オート選局またはマニュアル選局」参照

3 SET を押す

• エリアガイド機能で放送局が記憶済みのときは、最後のプリセット番号の次の番号が点滅します。

• 手順**4**の操作に進みます。

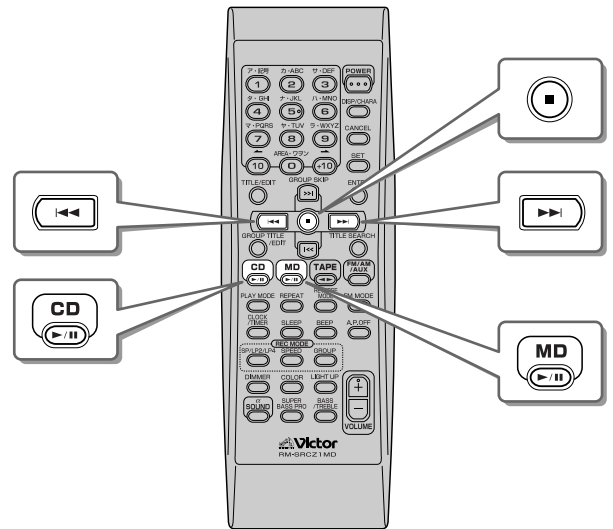
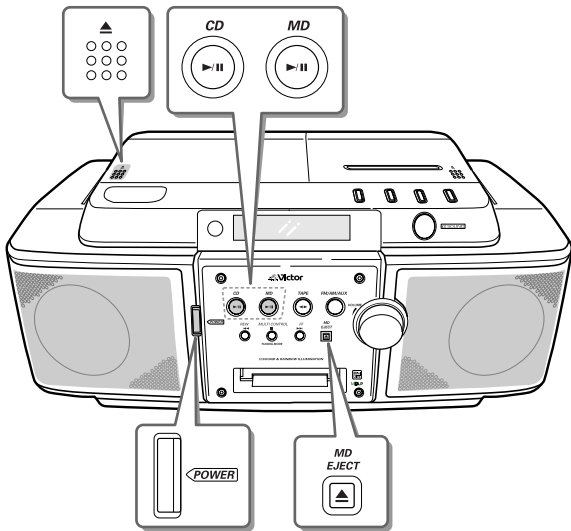
4 数字ボタン(1〜10、+10)で記憶したいプリセット番号を選ぶ

• すでに放送局が記憶されている番号を選ぶと、そのプリセット番号を、今選んだ放送局に変更することができます。同じ放送局が2局プリセットされているときなど、放送局の入れ換えに便利です。
• 数字ボタンを押すと、ダイレクトにプリセット番号が選べます。

5 SET を押す

・追加した放送局が記憶(メモリー)されます。
2秒後にソース(音源)表示に戻ります。

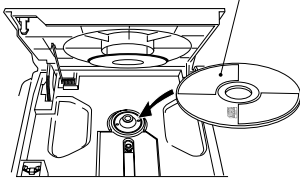
〈お知らせ〉
● AM放送は、モノラル受信です。AM放送を受信するときは、必ずAMループアンテナ(付属品)を接続してください。
● ロッドアンテナやAMループアンテナではうまく受信できないときは、市販の屋外アンテナを使用してください。➡14ページ参照
● 電源コードを抜いた状態(または停電)が24時間以上続くと、記憶された放送局は取り消されます。再度記憶させてください。
● エリアガイド機能を使って記憶(メモリー)させると、追加した放送局は取り消されます。このようなときは、再度放送局を記憶(メモリー)させてください。

CDを聞く/MDを聞く

1 CDまたはMDを入れる

・CDを聞くとき

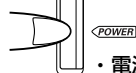
1-1 ▲(CD取出し)部を押してCDドアを開ける

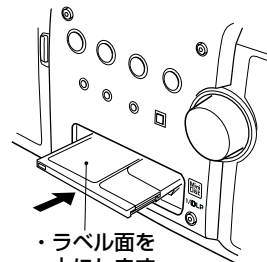
1-2 CDを入れる

・文字のある面を上にします

1-3 ▲(CD取出し部)を押して閉める

・「カチッ」と音がするまで確実に押して閉めてください。

・MDを聞くとき

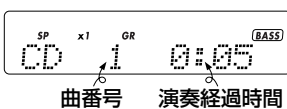
1-1 POWERを押す

・電源を「入」にします。

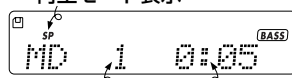
1-2 ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込む。途中まで入ると自動的に中に引き込まれます。

・ラベル面を上にします

・MDが入ると表示窓に□が表示されます。

2 (CD ►/II)または(MD ►/II)を押す

● リモコンは(CD ►/II)または(MD ►/II)を押す

・ソース(音源)がCDになります。

SP x1 GR BASS
CD 1 0:05
曲番号 演奏経過時間

・ソース(音源)がMDになります。

再生モード表示
SP BASS
MD 1 0:05
曲番号 演奏経過時間

・1曲目から演奏がスタートし、全部の曲の演奏が終わると、自動停止します。

	操　　作
演奏をとめる	■(停止)を押します。 総曲数と総演奏時間が表示されます。
一時停止する	CD►/II(またはMD►/II)を押します。演奏経過時間表示が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。
曲の頭出し(スキップ)	I◄◄ ：押すごとに戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。 ►►I ：押すごとに次の曲の頭に移ります。 停止中に押すと、曲ごとの演奏時間が分かります。CDは20曲までです。
曲の早送り・早戻し(サーチ)	・演奏中に押し続けます。 I◄◄ ：早戻しができます。 ►►I ：早送りができます。 (演奏音が小さく聞こえます)

● MDを取り出すには

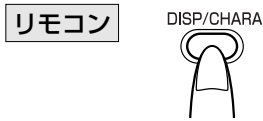
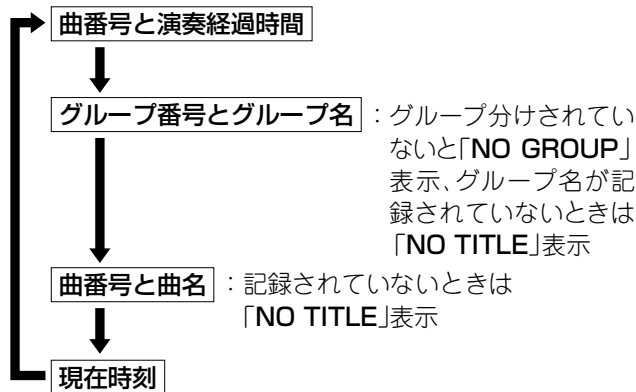
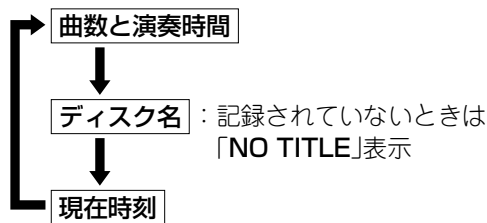
MD EJECT▲を押します。MDが出てきます。ソース(音源)が「MD」のときは、表示窓に「EJECT」が表示され「MD NO DISC」表示に変わります。

MDの再生モードについて

MDは録音したときの録音モードに従って演奏されます。演奏が始まると、表示窓にそのMDの再生モードが表示されます。

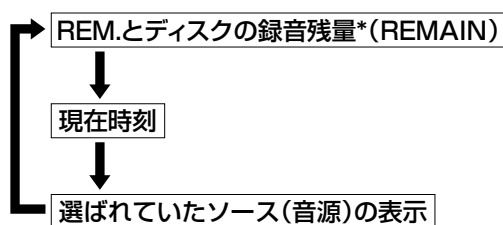
- ・*SP* ：本機でステレオ録音したMDまたはMD LPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- ・*LP 2* ：ステレオ２倍長時間録音したMDのとき
- ・*LP 4* ：ステレオ４倍長時間録音したMDのとき

表示窓の表示を変えるには

リモコンのDISP/CHARAを使います。押すごとに次のように変わります。

・MD演奏中は

・MDが停止中は（ソースが「MD」のとき）

● ソース（音源）がMD以外のときは

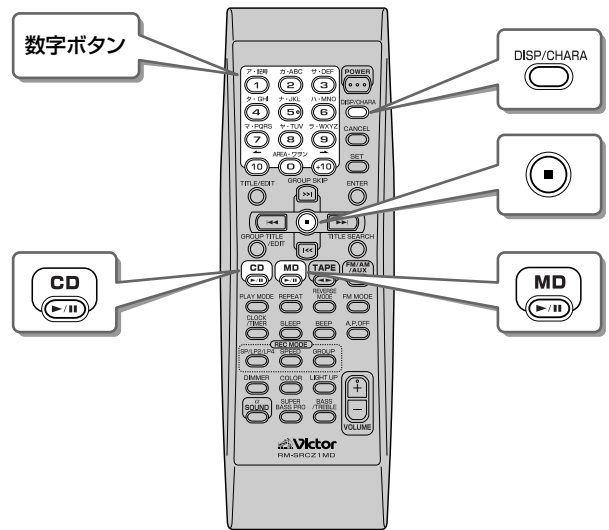
が押すごとに表示されます。

＊再生用MDは0：00表示

〈お知らせ〉

- 文字のある面に（COMPACT disc DIGITAL AUDIO）または（COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable）、（COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable）のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、CD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- CDやMDの取り扱いについては、8ページをご覧ください。
- CDやMDが入っているときは、CD▶/❚❚またはMD▶/❚❚を押すだけで演奏が始まります。
- MDを使用しないときは、挿入口から取り出しておいてください。
- 電源を「入」にすると、MD部から「カチッ」という音がします。これはMD部に電源を供給するための音で故障ではありません。

ダイレクト演奏

聞きたい曲の番号と同じ数字ボタンを押すと、直接その曲から聞くことができます。これをダイレクト演奏といいます。

1　CD ➡ ■ または MD ➡ ■ を押す

・ソース（音源）が「CD」になります。

・ソース（音源）が「MD」になります。

2　数字ボタン（1 ～ 10、+10）を押して聞きたい曲を選ぶ

1～10の曲番号を選ぶとき

数字ボタンの1～10いずれかのボタンを押します。

11以上の曲番号を選ぶとき

15曲目を選ぶ：+10 ➡ 5

20曲目を選ぶ：+10 ➡ 10

と押します。

21以上の曲番号を選ぶとき

25曲目を選ぶ：+10 ➡ +10 ➡ 5

30曲目を選ぶ：+10 ➡ +10 ➡ 10

と押します。

押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。

● **演奏中も別の曲に変更できます。**

聞きたい曲の数字ボタンを押してください。
押した曲番号に表示が変わり、曲の頭から演奏がスタートします。

聞く

CDを聞く/MDを聞く(つづき)

プログラム演奏

CDは最大20曲、MDは最大32曲までプログラム(予約)することができます。これ以上はできません。

1 CD ➡ ■ または MD ➡ ■ を押す

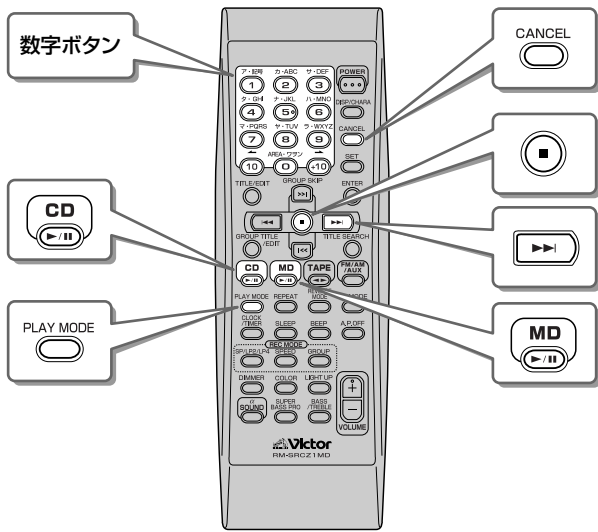
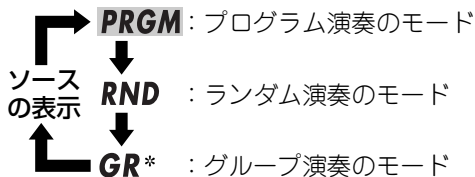
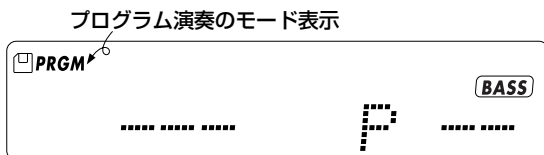
- ソース(音源)が「CD」になります。
- ソース(音源)が「MD」になります。

演奏がとまったら

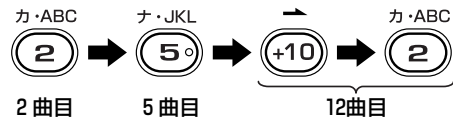
2 PLAY MODE を押して「PRGM(プログラム)」を選ぶ

PRGM : プログラム演奏のモード
RND : ランダム演奏のモード
GR* : グループ演奏のモード

ソースの表示

・押すごとに変わります。

例：MDのプログラム演奏のとき

＊GRは…
ソース(音源)がMDのときに限り表示されます。

3 数字ボタン(1〜10、+10)を押してプログラムする

- 数字ボタンの使いかたは㉕ページの「ダイレクト演奏」をご覧ください。

例：MDに3曲プログラムしたとき

- 2秒後に予約の最後の曲番号とプログラムの合計時間が表示されます。ただし、CDは99:59を超えると−−:−−表示になります。MDは149:59を超えると−−−:−−表示になります。

4 CD または MD を押す

・CDのとき

・MDのとき

- プログラムした順に演奏されます。演奏が終わると自動停止しますがプログラムは残ります。

● プログラム内容の確認(停止状態のときのみ)

▶▶Iを押すごとに、プログラム1からの曲番と順番が表示されます。なお順番の表示から2秒後に、プログラムの合計時間に変わります。

● プログラムを間違えたときは

停止状態のときCANCELボタンを押します。押すごとに最後のプログラムから取り消されます。

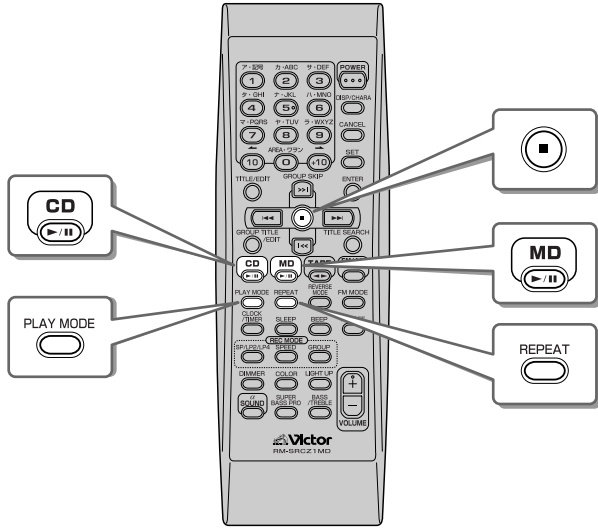
● プログラム演奏のモードを取り消すには

CDまたはMDを取り出すと取り消されます。また電源を切ったときも、取り消されます。プログラム内容も全部取り消されます。

〈お知らせ〉

- CDの場合、曲番号21以上の曲もプログラムできますが、演奏時間は表示されません。
- プログラム演奏を利用すると、CDやMDに収録されている曲の中から、好きな曲だけを選んで聞くことができます。なお、MDやテープにプログラムしてシンクロ録音するときは、上記の手順**4**の操作は必要ありません。

無作為な順番で聞く(ランダム演奏)

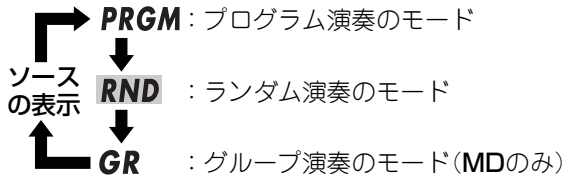
本機が曲順を無作為(ランダム)に選んで演奏します。

1 CD ➡ ⊙ または MD ➡ ⊙ を押す

- ソース(音源)が「CD」になります。
- ソース(音源)が「MD」になります。

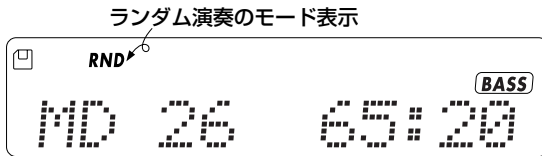
演奏がとまったら

2 PLAY MODE を押して「RND(ランダム)」を選ぶ

ソースの表示

- PRGM:プログラム演奏のモード
- RND:ランダム演奏のモード
- GR:グループ演奏のモード(MDのみ)

・押すごとに変わります。

例:MDのランダム演奏のとき

ランダム演奏のモード表示

3 CD または MD を押す

・CDのとき

・MDのとき

- 無作為な順番に全曲を演奏すると、自動停止します。

くり返して聞く(リピート演奏)

1曲または全曲をくり返して聞くことができます。

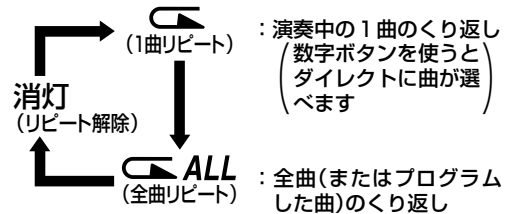
1 CD または MD を押す

・CDのとき

・MDのとき

- ソース(音源)が「CD」になります。
- ソース(音源)が「MD」になります。

2 REPEAT を押してリピート演奏のモードを選ぶ

- (1曲リピート):演奏中の1曲のくり返し(数字ボタンを使うとダイレクトに曲が選べます)
- ALL(全曲リピート):全曲(またはプログラムした曲)のくり返し
- 消灯(リピート解除)

・押すごとに変わります。

● リピート演奏をやめるには

REPEATを押してリピート表示を消灯させ、「リピート解除」にします。

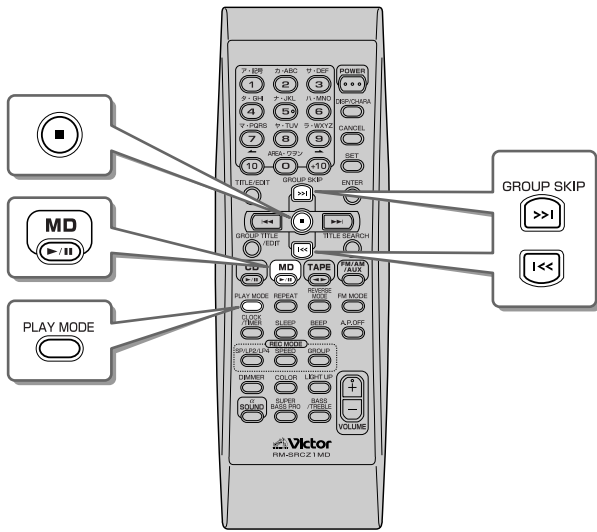
● ランダム演奏をくり返すには

ランダム演奏中にREPEATを押すと、全曲リピートのランダム演奏になります。

● ランダム演奏のモードを解除するには

次のいずれかの操作をします。
- ・CDまたはMDを取り出す
- ・停止中にPLAY MODEを押して「RND」表示を消す
- ・電源を切る

MDのグループ演奏

グループ設定されているMDは、グループ機能*を使うことができます。

＊グループ機能とは…

ステレオ長時間録音(MD LP)により１枚のMDに多くの曲が録音できるようになりました。このMDに録音された曲をいくつかのまとまり(グループ)に分けて利用する機能のことです。

１曲でもグループにすることができ、一つのMDが全部で99グループに分けられます。

1 グループ分けされているMDを入れる

2 MDを押してから■を押す

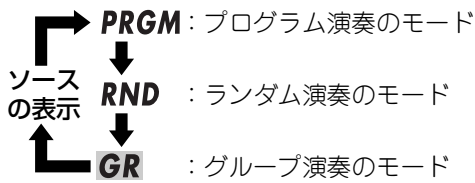
● ソース(音源)が「MD」になります。

演奏がとまったら

3 PLAY MODEを押して「GR(グループ)」を選ぶ

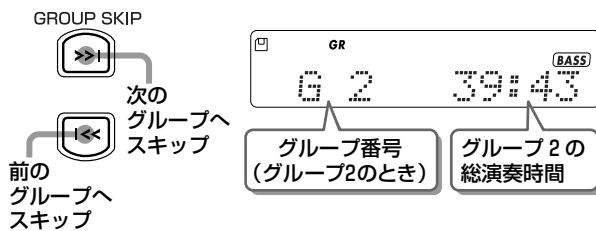
ソースの表示

PRGM：プログラム演奏のモード

RND：ランダム演奏のモード

GR：グループ演奏のモード

・押すごとに変わります。

4 GROUP SKIP >>I(またはI<<)を押して演奏したいグループを選ぶ

例：グループ２を選んだとき

5 MDを押す

● グループ演奏がスタートし、グループ内の全曲を演奏し終わると自動停止します。

● グループ演奏中に数字ボタン(１～10)を押すと、グループ演奏のモードが解除され、その曲からダイレクト演奏になります。
● グループ分けされていないMDのときは、MD▶/IIを押すとグループ演奏のモードが解除され通常の演奏になります。

● くり返しグループ演奏する

グループ演奏中にリモコンのREPEATを押して ALL を選ぶと、グループ内の全曲をくり返して聞くことができます。

● 演奏グループを変える(グループスキップ)

グループ演奏中にGROUP SKIP>>I(またはGROUP SKIP I<<)を押します。

・通常演奏中にグループスキップをすると、そのグループの最初の曲からMDの最後の曲まで演奏されます。

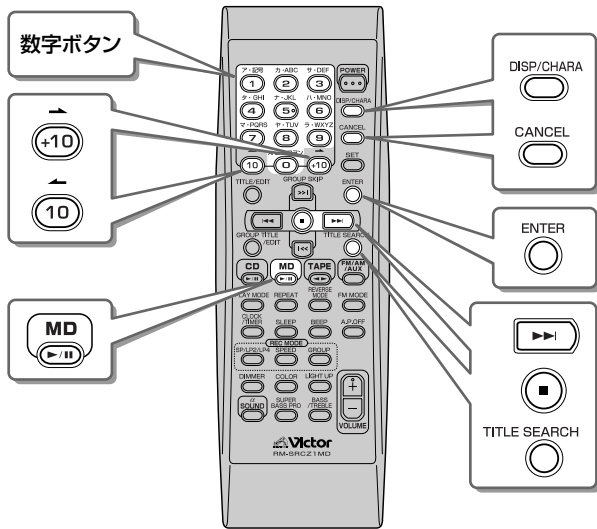
● グループ演奏のモードを解除する

停止中にPLAY MODEをくり返し押して、表示を「GR」以外にします。

数字ボタンを押してもグループ演奏のモードは解除され、押した数字の曲からのダイレクト演奏になります。

またMDを取り出すか電源を「切」にしたときも解除されます。

MDのタイトルサーチ

本機では、曲タイトルを探して(タイトルサーチ)演奏することができます。
タイトルを探したいMDを本機に入れておきます。

1 MDを押してから⊙を押す

● ソース(音源)がMDになります。

2 TITLE SEARCH を押す

表示窓に入力表示が現れ「SEARCH」が表示されます。
- 演奏中のときは演奏が停止します。
- ソース(音源)がMD以外のときはタイトルサーチできません。

3 探したいタイトルを入力する

探したいタイトルの最初の1～5文字まで入力します。
例:「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順に探します。
「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に探します。

入力には次のボタンを使います。

DISP/CHARA　:文字の種類を切り換えます。
10(または+10)　:入力位置を移動します。
数字ボタン(1～9、0):文字を入力します。
CANCEL　:入力位置の文字を消します。

- 詳しい入力方法は40ページの「**タイトルをつける**」を参照してください。
- 空白(スペース)も文字として扱われますが、空白(スペース)の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- タイトルが記録されていない曲(NO TITLE)を探すときは、何も入力しないで手順**4**に進みます。
- 途中でやめるときは、TITLE SEARCHまたは■(停止)を押します。

4 ENTER を押す

「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。
曲が見つかると演奏が始まります。
演奏が終わると再び次のタイトルサーチが始まります。
- 曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、自動停止します。

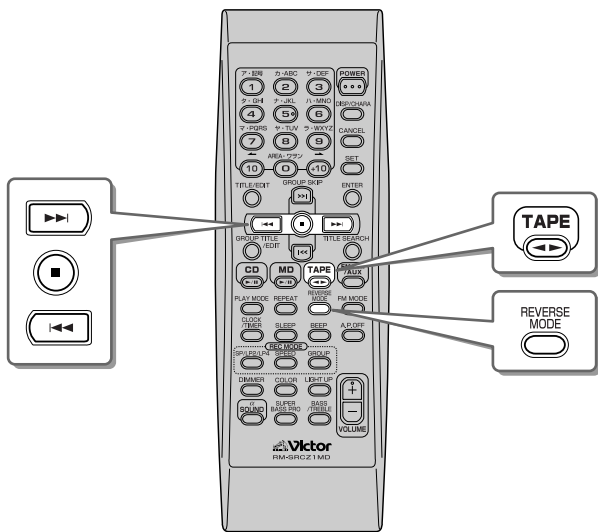
● 演奏を停止する

■(停止)を押すと、タイトルサーチまたは演奏が停止します。

● 次の曲を探すには

▶▶|を押すと、「SEARCH」と表示され次の曲のタイトルサーチが始まります。曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが終了します。

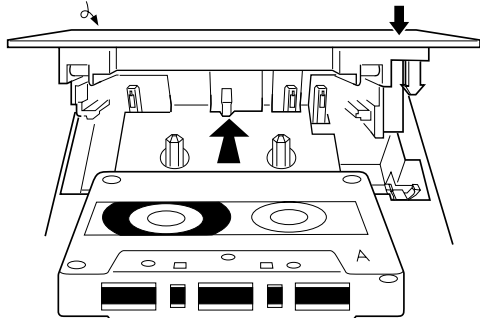
テープを聞く

ノーマルテープ（TYPE Ⅰ）に限り再生ができます。

ご注意

- テープに**たるみ**があると、機械内部に巻き込まれたり故障の原因となります。ご使用の前に**たるみ**を取り除いてください（➡9ページ参照）。
- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**長い時間の録音または再生に便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。

1 カセットホルダーの▲（テープ取出し）部を押して開け、テープを入れる

A面を上にし、テープの見える面を手前にして入れます。

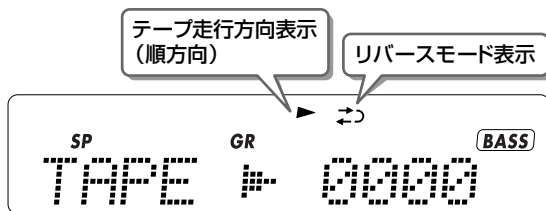
カセットホルダー　②▲（テープ取出し）部を押して閉める

①ノーマルテープを入れる

- C-90（90分）以下の長さのテープをご使用ください。
- カセットホルダーを閉めるときは、「カチッ」と音がするまで確実に押して閉めてください。

例：ソース（音源）がTAPEのとき

2 REVERSE MODE を押してリバースモードを選ぶ

押すごとに、表示窓のリバースモード表示は次のように切り換わります

- ⇄ ：A面（おもて面）、またはB面（うら面）のみの**片道再生**
- ⇄ↄ ：A面（おもて面）からB面（うら面）への**往復再生**
- ꜀⇄ↄ：AB両面の**連続再生**（再生を停止するまでくり返し）

3 TAPE を押す

テープの再生が始まります。

- TAPE◀▶を押すごとに、テープの走行方向が変わります。テープを入れた最初は、必ず**順方向（おもて面）から**走行します。「TAPE」と4ケタのテープカウンターが表示されます。
- テープの順方向再生中は右向き（▶）のテープ走行方向表示が、テープの逆方向再生中は左向き（◀）のテープ走行方向表示が表示されます。
- ⇄または⇄ↄで再生した場合、テープが巻き終わると自動停止します。

● 再生を停止する

■（停止）を押します。

カセットホルダーを開けてテープを取り出すときは、必ず■（停止）を押してテープを止めてからカセットホルダーの▲（テープ取出し）部を押します。

● テープを早送り／巻き戻しする

▶▶I（またはI◀◀）を押します。

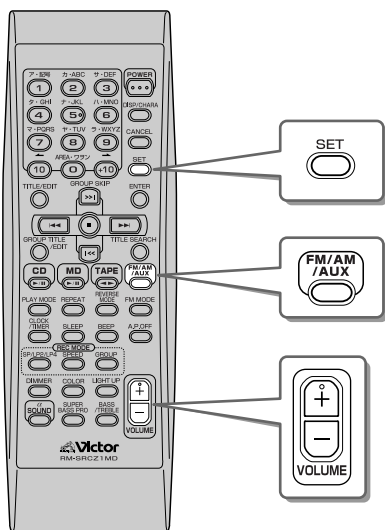
・順方向（▶）の再生中は、▶▶Iが早送り、I◀◀が巻き戻しになります。

・逆方向（◀）の再生中は、▶▶Iが早送り、I◀◀が巻き戻しになります。

〈お知らせ〉

- 本機は、ノーマルテープ（TYPE Ⅰ）の再生に対応しています。ハイポジションテープ（TYPE Ⅱ）やメタルテープ（TYPE Ⅳ）は、お勧めできません。再生すると音質が変わります。

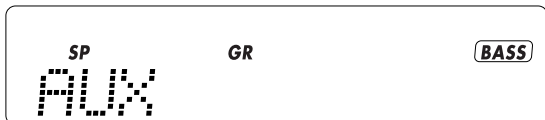
他の機器の音声を聞く

本機背面のAUX IN端子に接続した他のオーディオ機器の音声を楽しむことができます。
・ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

ご注意

- 接続するときは、接続する機器だけでなく、本機側も必ず電源を「切」にしてから接続してください。

1 背面のAUX IN端子に他の機器をつなぐ

- レコードプレーヤーを接続するときは、フォノイコライザーが必要です。
  (➡⑮ページ「他の機器の接続」参照)

2 FM/AM /AUX を押して、表示窓に「AUX」と表示させる

3 他の機器の演奏を始める

- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量、音質などを調節する

(➡㉑ページ「音量・音質を調節する」参照)

他の機器の音声入力レベルを調節する

接続した他の機器の音声入力レベルを調節することができます。
ソース(音源)がAUXのとき操作します。

1 入力レベルが表示されるまで SET を押し続け、レベルを選ぶ

SETを押し続けるごとに次のように切り換わります。

・LEVEL 1 ：他の機器からの音声**入力レベルが大きいときに選びます。**レベルが小さくなります。
(お買い上げ時の設定)

↕

・LEVEL 2 ：他の機器からの音声**入力レベルが小さいときに選びます。**レベルが大きくなります。

表示された音声入力レベルは、約2秒で消えます。

録音する前に

本機では、MDへの録音とテープへの録音ができます。

MDに録音するとき

MDに録音できるソース(音源)

MDには、CD、放送(ラジオ)、テープ、接続した他の機器の音声(AUX)が録音できます。

MDでできる録音

● ステレオ長時間録音(MDLP)

全てのソース(音源)の音声を録音するときに使えます。
本機は、ステレオ長時間録音(MDLP)に対応しています。録音モード(SP:標準/LP 2 : 2倍長/LP 4 :4倍長)のLP 2 またはLP 4 を使うと、ステレオ音声のまま2倍長または4倍長の長時間で録音できます。(➡㉞ページ**「録音モードの設定」**参照)

● グループ録音

全てのソース(音源)の音声を録音するときに使えます。
録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音することができます(お買い上げ時の設定)。
ステレオ長時間録音のとき、CDごとやアーティストごとに1つのグループにしておくと便利です。
・グループとして録音しない設定にすることもできます。(➡㉞ページ**「グループ録音の設定」**参照)

● CDの4倍速録音

CDの音声を録音するときに使えます。
本機は、CDをMDに等速/4倍速で録音することができます。
CDを従来の約1/4の時間で録音することができます。
(➡㉟ページ**「CDの録音」**参照)
- **CDの4倍速録音のときは、CDの演奏音を聞くことはできません。音量や音質調節をすると、「CANNOT LISTEN(リッスン)」とスクロール表示されます。**
- **CDの4倍速録音のとき、MDの録音残量時間を確認するには**
  録音中にDISP/CHARAを押して確認してください。
  録音を始める前のときは、等速録音(×1)のモードでDISP/CHARAを押してください。4倍速録音(×4)のモードのときは、MDの録音残量時間が正しく表示されないことがあります。

● CDの1曲録音

CDの音声を録音するときに使えます。
演奏中の1曲だけを録音することができます。
(演奏中に録音状態にすると、1曲のみ録音されます)

● シンクロ録音

CDまたはテープの音声を録音するときに使えます。
CDまたはテープの演奏開始と同時に録音を開始します。
演奏が終了すると録音も終了します。

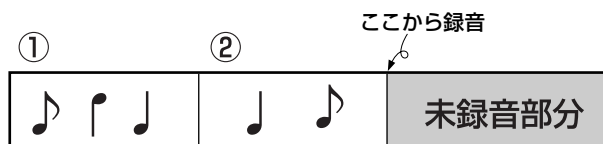
トラックマークについて

MDには、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。
- CDを録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。
- CD以外のソース(音源)を録音中は、トラックマークをつけたいところでリモコンのSETを押してトラックマークをつけることができます。

〈お知らせ〉

- テープ再生や他の機器の音声(AUX)のアナログソースの録音中は、無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。

録音をする前に

- 大切な録音の場合は必ず試し録音をして、設定通りに録音できることをお確かめのうえ、ご利用ください。
- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。
- 音楽CDの音は、デジタル信号のまま録音されます。
  CD-R/RWの音は、「SCMS CANNOT COPY」が表示された場合アナログ信号で録音されます。
  テープや放送(ラジオ)の音声はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して未録音部分の始まりから録音されます。

  テープのように上書きで録音することはできません。新たに録音し直すときは、ALL ERASE(➡㊿ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます(➡㊶ページ参照)。
- 録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。

ご注意

- MDの録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「UTOC Writing」の表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。

MDカートリッジのラベルについて
- MDカートリッジのラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったまままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

テープに録音するとき

録音に使うテープ

録音にはノーマルテープ（TYPE I）を使います。他のテープは使えません。

テープに録音できるソース（音源）

テープには、CD、MD、放送（ラジオ）、接続した他の機器の音声（AUX）が録音できます。

テープでできる録音

● 両面往復録音

全てのソース（音源）の音声を録音するときに使えます。
テープのリバースモードを⇄（往復）に設定すると、テープのおもて面からうら面に続けて録音することができます。

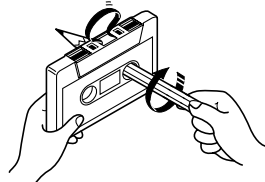
● CDまたはMDの１曲録音

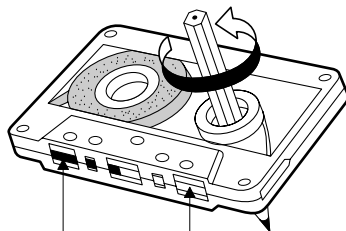
CDまたはMDの音声を録音するときに使えます。
演奏中の１曲だけを録音することができます。
（演奏中に録音状態にすると、１曲のみ録音されます）

● シンクロ録音

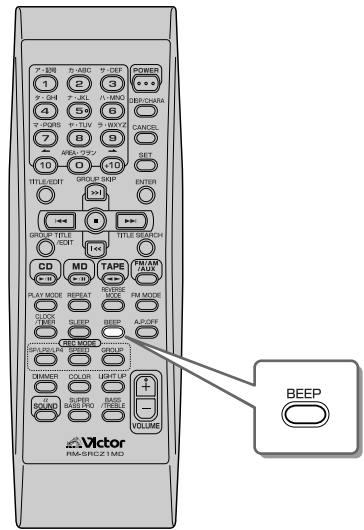
CDまたはMDの音声を録音するときに使えます。
CDまたはMDの演奏開始と同時に録音を開始します。
演奏が終了すると録音も終了します。

録音する前に

- テープにたるみがあると機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に図のようにしてたるみを取り除いてください。
また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

お知らせ

リーダーテープについて
テープの始まりと終わりには、録音できない部分（リーダーテープ）があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきます。

磁気テープ（録音できます）　リーダーテープ（録音できません）

録音終了音（ビープ音）を設定する

本機は、MDまたはテープの録音終了時に「ピー」という確認音が鳴ります。鳴らなくすることもできます。

ソース（音源）に関係なく、BEEPボタンを押すごとに設定できます。

BEEP OFF　：確認音は鳴りません。
↕
BEEP ON　：確認音が鳴ります。
（お買い上げ時の設定）

録音する

MDに録音する

● ステレオ長時間録音(MD**LP**)について

本機はステレオ音声のまま2倍または4倍の長時間録音(MD**LP**)に対応しています。
1枚のMDに違うモード(SP:標準/LP2:2倍長時間/LP4:4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。MDの録音残量表示は録音モードの設定に応じて変わります。

SP　:**標準のステレオ録音**
　(MD80で最大80分の録音)
LP2　:**2倍長時間録音(ステレオ)**
　(MD80で最大160分の録音)
LP4　:**4倍長時間録音(ステレオ)**
　(MD80で最大320分の録音)
　ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

〈お知らせ〉

- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPモードにしてください。

ご注意

- 本機でステレオ長時間録音された曲は、「MD**LP**」の再生に対応した機器以外では演奏できません。曲タイトルの始めにLP:と表示され、無音状態になります。「MD**LP**」に対応した機器で演奏すると、LP:は表示されません。またLP:をつけない設定にすることもできます。
- MDの編集をするとき、録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげる(JOIN)ことはできません。

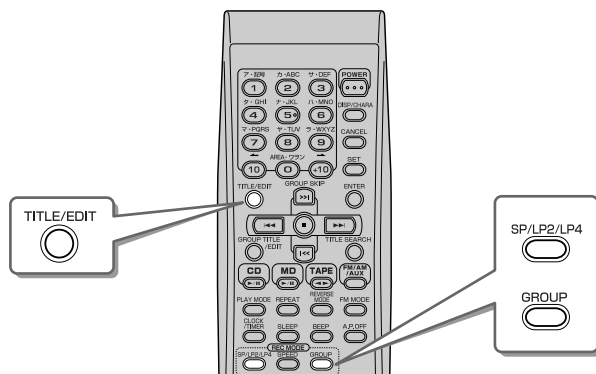
● MD状態表示について

● CD-R/CD-RWディスクの録音

CD-RまたはCD-RWディスクの音声をMDに録音するとき、本体のMD RECを押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示されデジタル録音はできません。しばらくするとアナログ録音に切り換わり録音が自動でスタートします。

〈お知らせ〉

- **「SCMS CANNOT COPY」を表示したままアナログ録音がスタートしないときは**
  いったん■(停止)を押し、そのあともう一度MD RECを押してください。アナログ録音がスタートします。

MDに録音する前の設定

録音モードの設定

事前に録音するソース(音源)を選んでから、ステレオ長時間録音(MD**LP**)のモードを設定します。

SP/LP2/LP4
を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとにモードが変わり、表示窓に表示します。

SP(標準) ➡ LP2(2倍長) ➡ LP4(4倍長) ➡ SP

LP:の設定

ステレオ長時間録音された曲の頭の部分にLP:をつける/つけないの設定をします。

TITLE/EDIT
を2秒以上押して設定する

(LP:OFF)　:「LP:」をつけないで録音
↕
(LP:ON)　:「LP:」をつけて録音
　(お買い上げ時の状態)

グループ録音の設定

これから録音する曲や放送などを一つのグループとして録音するときGROUP ONに設定します。
事前に録音するソース(音源)を選びMDを入れてから設定します。

GROUP
を押して設定する

GROUP ON　:グループとして録音します。
　MD状態表示のグループモード表示が点灯します。
↕
GROUP OFF　:グループ録音はしません。
　MD状態表示のグループモード表示が点灯しません。

〈お知らせ〉

- 録音モード(SP/LP2/LP4)とグループ録音の設定は、ソース(音源)ごとにできます。ただし、ソース(音源)がMDのときは設定できません。またMDが入っていないとグループ録音の設定を変えることができません。

CDの録音

CDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する1曲録音ができます。
・録音レベルは自動調節されます(ALC録音方式)。

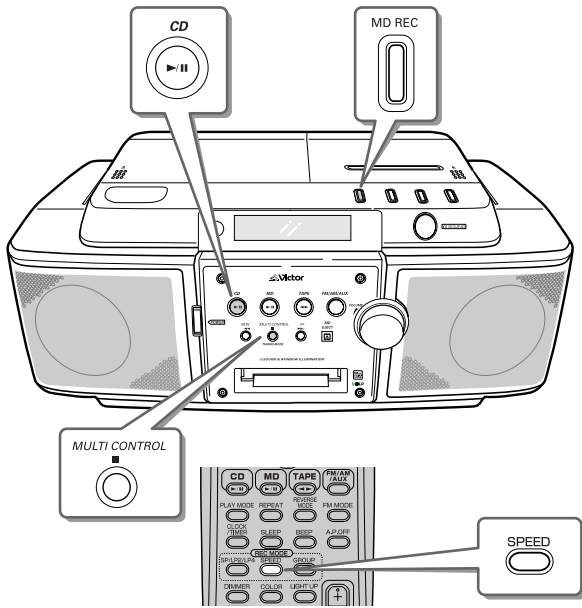
HCMS(4倍速録音での著作権保護)について

4倍速録音では､著作権保護のため4倍速(等速を超える)録音に関する規定があります(➡59ページ参照)。

- この規定により、CDから一度4倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の再録音(4倍速)はできません。
- 74分が経過する前に同じ曲を4倍速録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。

ご注意

- 4倍速録音中は、音を聞くことはできません。
- 4倍速録音ではディスクを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、次のような症状が出ることがあります。
  - **・MDにノイズが録音される。**
  - **・MDに不要なトラックができたり、録音が途中で停止する。**

このようなときは、等速で録音し直してください。

● 全曲(またはプログラムした曲)の録音

1 **CD(►/II)を押してから MULTI CONTROL を押す**

- ソース(音源)が「CD」になります。
  停止状態になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。
  停止しないと1曲録音になります。

2 **録音用のMDを入れる**

録音モードの設定、LP：の設定およびグループ録音の設定を確認しておきます。➡34ページ**「MDに録音する前の設定」**参照

- 誤消去防止用のつまみを閉じておきます(➡8ページ参照)。

● 好きな曲だけ録音するには(等速録音のみ)

①リモコンのPLAY MODEを押して「PRGM」を選ぶ
②数字ボタンを押して曲をプログラムする
➡詳しくは26ページ**「プログラム演奏」**参照

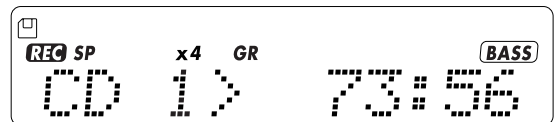
3 **リモコンの SPEED を押して録音スピードを選ぶ**

x1 SPEED (等速録音)
↕
x4 SPEED (4倍速録音)

・押すごとに変わります。

- **CDのプログラム録音、ランダム演奏、リピート演奏のときは4倍速録音ができません(手順4の操作をするとCANNOT RECが表示されます)。必ず等速録音を選んでください。**

4 **MD REC を押す**

CDの演奏開始と同時にMDの録音もスタートします(シンクロ録音)。REC表示が点灯します。
例： 4倍速録音のとき

MDの録音が終わると「UTOC Writing」表示のあと自動停止します。このとき「ピー」音と「MD REC END」が表示され、録音の終わりを知らせます。CDの演奏が終わったときも自動停止します。他のボタンを押すと「MD REC END」表示が消えます。

● 途中で録音をやめる

■(停止)を押します。
MDとCDが同時に停止し､「UTOC Writing」表示のあと「MD REC END」と表示して録音が終了します。

● ►►Iまたは I◄◄で曲番号を指定する

通常のCDの場合、指定した曲番号以降の曲を録音します。
手順**4**でMD RECを押す前に操作してください。

● 演奏中の曲だけを録音する(1曲録音)

録音したい曲の演奏中に、MD RECを押します。
演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。1曲録音が終わると、CDとMDが自動停止します。このとき「ピー」音と「MD REC END」が表示され、録音の終わりを知らせます。

MDに録音する(つづき)

放送(ラジオ)やテープ、他の機器の音声を録音

テープのシンクロ録音や他の機器からの録音ができます。
・録音レベルは自動調節されます(ALC録音方式)。

1 録音したいソース(音源)を選ぶ

ソース(音源)	操　作
放　送 (ラジオ)	FM/AM/AUXを押してから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
テープ再生 (TAPE)	再生するテープを入れ,TAPE◀▶を押してから■(停止)を押す。そのあとリモコンのREVERSE MODEを押してリバースモード(⇄または⇄)を選ぶ。
他の機器の音声 (AUX)	FM/AM/AUXを押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます(➡31ページ参照)。

2 録音用のMDを入れる

録音モードの設定、LP:の設定およびグループ録音の設定を確認しておきます(➡34ページ「**MDに録音する前の設定**」参照)。

- 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡8ページ参照)。

3 を押す

録音がスタートし、REC表示が点灯します。

- テープ再生の場合、録音開始に合わせてテープ再生もスタートします(シンクロ録音)。
- 他の機器からの音声を録音する場合、接続した機器の演奏を始めます。

例:FM放送を録音するとき

● 表示窓の表示内容を換える
リモコンのDISP/CHARAを押すごとに、録音中のソース(音源)名とMDの録音残量時間、MDの曲番号・グループ番号、現在時刻などに切り換わります。

● MDの録音が終わると
「UTOC Writing」表示のあと自動停止します。このとき「ピー」音と「MD REC END」が表示され、録音の終わりを知らせます。
テープ再生が終わったときも自動停止します。

● 録音を途中でやめるには
■(停止)を押します。
「UTOC Writing」表示のあと、「MD REC END」が表示され録音が停止します。

● 録音中に無音部分が3秒以上続くと
テープ再生や他の機器の音声(AUX)の録音のとき無音部分が3秒以上続くと、曲の変わり目として区切られ、トラックマークがつき曲番号も変わります。
ただし曲間が短かったり雑音が多いと区切られないことがあります。

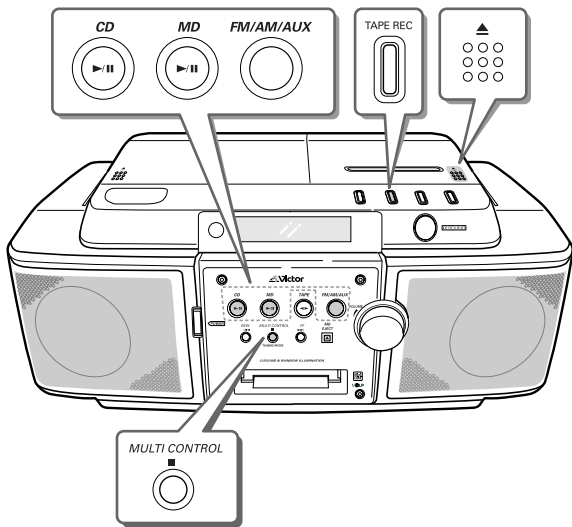
● 曲番号(トラックマーク)をつけるには
テープ再生や放送などを録音中に、リモコンのSETを押すと曲番号(トラックマーク)をつけることができます。
このとき、リモコンのDISP/CHARAを押してMDの曲番号表示に切換えておくと、SETを押したとき曲番号が変わり受けつけたことが分かります。

● エリアガイド機能で放送局を記憶した場合
エリアガイド機能(➡17ページ参照)で放送局が記憶してあると、録音中に放送局名がTRACK TITLEに自動で記録されます。ただし、放送局によっては局名が全て記録されないことがあります。

〈お知らせ〉

- MDを入れたあと約10秒間は、MD RECを押しても録音はスタートしません。これは、録音の準備をしているためです。
- 録音モードが長時間(SP➡LP2➡LP4)になるにしたがって音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードのSPをお勧めします。
- テープ再生を録音するときA面からB面に反転する間は、リーダーテープがありますので無音録音になります。
- 録音残量時間は、そのMDの録音に使われる録音モード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。
  例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。
- 放送や他の機器の音の録音中にMD RECを押すと、一時停止ができます。このときREC表示が点滅し、トラックマークがつけられます。
  もう一度MD RECを押すと録音が再開します。

テープに録音する

CDまたはMDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する１曲録音ができます。
・曲間に４秒の**あき**(ブランク)を作って録音されます。**録音レベルは自動調節されます(ALC録音方式)。**
・録音にはノーマルテープ(TYPE I)を使います。他のテープは使えません。

1 録音用のテープを入れる

- ノーマルテープ(TYPE I)を使います。
- リーダーテープ*の部分は巻き取っておきます(➡33ページ参照)。
- 途中まで録音した位置で止まっているテープを入れると、その位置から録音されます。

2 リモコンの REVERSE MODE を押してリバースモードを選ぶ

・⇄ ：片道のみ録音
・⇄ↄ ：A面(おもて面)からB面(うら面)へ往復録音

3 録音したいソース(音源)を選ぶ

ソース(音源)	操　作
CD	CD▶ /❙❙を押してから■(停止)を押します。
MD	MD▶ /❙❙を押してから■(停止)を押します。
放　送 (ラジオ)	FM/AM/AUXを押してから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
他の機器の音声 (AUX)	FM/AM/AUXを押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます(➡31ページ参照)。

4 TAPE REC を押す

上の面から録音がスタートし、REC表示が点灯します。４ケタのテープカウンターが表示されます。

- ソース(音源)がCDまたはMDの場合、シンクロ録音機能によりCDまたはMDの演奏が自動でスタートし、終わるとテープも自動停止します。このとき「ピー」音で録音の終わりを知らせます。
- ソース(音源)が他の機器の音声のときは、接続した機器の演奏を始めます。

例：CDを録音するとき

●録音を途中でやめるには

■(停止)を押します。
CD(またはMD)の演奏が終わると、録音も自動停止します。

●CDまたはMDのコンプリート録音機能(シンクロ録音時のみ)

曲の途中でテープが逆方向に反転すると、うら面(B面)には、次のように録音し直されます。
・順方向最後の曲の録音が12秒以下のときは前の曲の頭から
・順方向最後の曲を12秒以上録音していたときはその曲の頭から

*リーダーテープにご注意

カセットテープの始めには、リーダーテープ(録音できない部分)があります。録音するときは、あらかじめ再生状態でリーダーテープを巻き取っておいてください。

〈お知らせ〉

- **録音済みのテープの音を消すには…**
TAPE◀▶を押してから■(停止)を押し､ソース(音源)を「TAPE」に切換えてTAPE RECを押すと、録音した音を消すことができます。無音のテープができます。
- 逆方向(◀)で録音が終わったときは、テープを取り出すとテープの走行方向は自動で順方向(▶)に戻ります。新しいテープを入れたときA面からの録音がしやすくなっています。
- リバースモードをↄ⇄ↄにして録音しても、リバース方向の巻き終わりでテープは自動停止します。録音中は⇄ↄが表示窓に表示されます。
- 生演奏などで全体が１曲で録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE機能(➡48ページ参照)を使ってテープ片面の長さに合わせて２曲に分けてください。

テープに録音する(つづき)

CD/MDの1曲だけ録音する(1曲録音)

ソース(音源)が「CD」または「MD」のとき

1 リモコンの数字ボタンで録音したい曲を演奏する

2 本体のTAPE RECを押す

・演奏中の曲の頭に戻り、1曲録音になります。CD(またはMD)の演奏が終わると、録音も自動停止します。このとき「ピー」音で録音の終わりを知らせます。

曲間にあき(ブランク)を作らずに録音する

CDまたはMDを一時停止状態にしてから録音すると、収録されたままの内容で録音できます。

1 CD▶/II(またはMD▶/II)を2回押す

・一時停止になります。

2 TAPE RECを押す

・一時停止した曲の頭から録音されます。
・曲の始まりや終わりの無音部分は、そのまま録音されます(丸録り)。

好きな曲だけ録音する(プログラム録音)

ソース(音源)が「CD」または「MD」のとき

1 リモコンのPLAY MODEを押して「PRGM」を選ぶ

2 数字ボタンを押して曲をプログラムする

・CD▶/II(またはMD▶/II)は押さないでください。

3 TAPE RECを押す

・プログラムした曲が録音されます。

▶▶Iまたは I◀◀で曲番号を指定し録音する

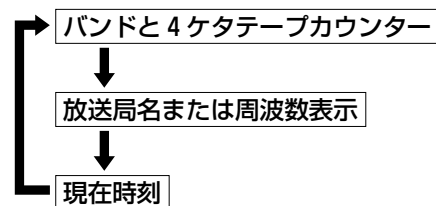
ソース(音源)が「CD」または「MD」のとき

1 ▶▶I(またはI◀◀)で曲番号を選ぶ

2 TAPE RECを押す

・指定した曲番号以降の曲が録音されます。

● **録音中の放送局名などを知るには**

リモコンのDISP/CHARAを使います。押すごとに次のように選べます。

● **テープを巻き戻すには**

1. TAPE◀▶を押してソース(音源)を「TAPE」にする
2. ■(停止)を押す
3. I◀◀(巻戻し)を押す
　・テープが巻き終わると自動停止します。

● **テープカウンターを「0000」にするには**

停止状態のとき、カセットホルダーの▲(テープ取出し)部を押してテープの出し入れをします。
テープカウンターは、テープによって多少ズレることがあります。おおよその目安としてお使いください。

● **AM放送録音中に「ピー」というビート音が出るときは**

AMループアンテナを「ピー」というビート音が、最も小さくなる所に移動してください。

タイトルをつける

リモコンを使ってMDにディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。
・ソース(音源)がMDのときリモコンで操作します。

タイトル編集について

- タイトルは、**カタカナ、英大文字／英小文字、記号、数字**を使って**最大61文字まで**つけることができます。

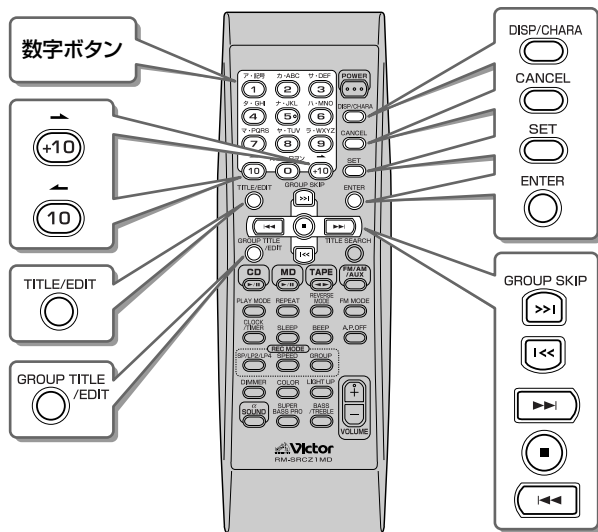
MDに入力できる文字数について

1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。

ステレオ長時間録音(LP 2またはLP 4)したときは、曲タイトルの先頭にLP： とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

例：
- ・ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
- ・ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

- タイトル入力の操作をしたあとでMD EJECT▲を押すと、MDが出てくる前に「UTOC Writing」が表示され編集した内容がMDに記録されます。
「UTOC Writing」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でTITLE/EDITまたはGROUP TITLE/EDIT押すとタイトル入力はいつでも解除することができます。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると「PLAYBACK MD」と表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏、グループ演奏になっているとき、TITLE/EDITまたはGROUP TITLE/EDITを押してもタイトル入力はできません。
- 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。
- グループ分けされていないMDは、グループタイトルをつけることができません。GROUP TITLE/EDITを押すと「FORM GR?」と表示されます。

1 MDを入れる

・誤消去防止つまみを閉じておきます。

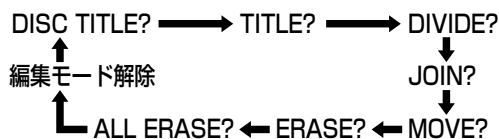
2 TITLE/EDIT ◯ または GROUP TITLE/EDIT ◯ を押して、タイトル編集モードに切り換える

ディスクタイトルをつけるとき

TITLE/EDIT ◯ **を1回押す** (**必ずMDが停止状態のとき操作します**)

➡ディスクタイトル編集表示になります。**手順4へ**進みます。

DISC TITLE?

ボタンを押すごとに以下のようにモードが選べます。

曲タイトルをつけるとき

TITLE/EDIT ◯ **を2回押す**

➡曲タイトル編集表示になります。**手順3へ**進みます。

TITLE?

40ページへ続く

録音する
編集する

タイトルをつける(つづき)

2 グループタイトルをつけるとき

GROUP TITLE/EDIT **を1回押す**

➡グループタイトル編集表示になります。**手順3へ**進みます。

GR TITLE?

ボタンを押すごとに以下のようにモードが選べます。

※グループ分けされていないMDは、「FORM GR?」と表示されます。

3 SET **を押したあとタイトルをつける曲またはグループを選ぶ**

曲タイトルをつけるとき

▶▶I(またはI◀◀)あるいは数字ボタンを押して曲を選ぶ

・ボタンを押すごとに以下のように曲が選べます。

1 TITLE? ⟷ 2 TITLE? ⟷ 3 TITLE?
最後の曲…

グループタイトルをつけるとき

GROUP SKIP **(または)を押してグループを選ぶ**

・ボタンを押すごとに以下のようにグループが選べます。

GR1 TITLE? ⟷ GR2 TITLE?
最後のグループ…

すでにタイトルが入力されているときは、そのタイトルの修正、追加、削除ができます。

4 SET **を押す**

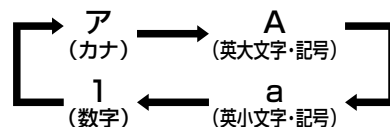
タイトル入力表示になります。

● タイトルが入力されているときは、入力位置にタイトルが表示されます。

入力位置(点滅)

入力文字種

5 DISP/CHARA＊ **を押して入力文字を変更する**

ボタンを押すごとに次のように文字の種類が切り換わります。

入力したい文字は41ページの「**文字配列表**」で確認してください。

＊DISP/CHARA：DISPLAY(ディスプレイ)/CHARACTER(キャラクター)の略。

6 タイトルを入力する

数字ボタンを使って、1文字ずつ入力していきます。1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、文字ごとに、そのボタンをくり返して表示させます。

例：「ス」と入力するとき

1) DISP/CHARAを押して、「ア」を表示させます。これで入力文字が「カナ」になります。
2) **数字ボタン**③(サ・DEF)を押すと、入力位置に「サ」と表示されます。
3) **数字ボタン**③(サ・DEF)をくり返し押すと、**「シ➡ス➡セ➡ソ➡サ…」**と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

手順5と手順6をくり返して好きなタイトルを入力してください。タイトルは61文字までつけられます。

文字入力位置を移動させるには

(+10)(または(10))を押します。右(または左)に1文字分ずつ移動します。入力位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に1文字分移動します。

文字を訂正するときは

訂正したい文字に入力位置を移動させてCANCELを押します。入力位置の文字が消去されます。右側に文字があるときは左に1文字分つまります。

「空白」をつくるには

(+10)で入力位置を右に移動させるか、文字種「記号」からスペース(空白)を選びます。

●「ウエ」「NO」のように、**同じボタンを使う入力が連続するときは**、(+10)を押して文字の入力位置を右に1文字分移動させてから入力します。

途中でタイトル入力をやめるには

TITLE/EDITまたはGROUP TITLE/EDITを押します。入力途中のタイトルは変更されません。通常のモードに戻ります。

7 ENTER ◎を2回押してタイトルを登録する

表示窓に「EDITING」が表示され、タイトルが登録されます。

ディスクタイトルをつけるとき

- 通常のモードに戻ります。

曲タイトル、グループタイトルのとき

- 次のタイトル入力表示が現われます。引き続き、手順**4**〜**7**をくり返してタイトル入力を行うこともできます。演奏中は次の曲または次のグループの演奏になります。
- 最後の曲またはグループにタイトルをつけ終わると、再び最後の曲またはグループの入力待ちに戻ります。手順**8**へ進みます。
  演奏中は、ENTERを押すまで最後の曲またはグループがくり返し演奏されます。

● 曲タイトル、グループタイトルをつけるときのみ

8 CANCEL ⬭を押してタイトル入力を終了する

通常のモードに戻ります。

- **・TITLE/EDITまたはGROUP TITLE/EDITを押して、通常のモードに戻すこともできます。**
- **・MDを取り出すときは、本体のMD EJECT▲を押します。**
  MDが出てくる前に「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

録音中のタイトル入力について

- ・TITLE/EDITを押したときの曲、または数字ボタンで選んだ曲にタイトルをつけます。
  GROUP TITLE/EDITを押したときのグループにタイトルをつけます。
- ・録音が終了するまでENTERが押されなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

● 文字配列表

ボタン	カ　ナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 (1)	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC (2)	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF (3)	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI (4)	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL (5)	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO (6)	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS (7)	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV (8)	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ (9)	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン (0)	ワヲン ゛ー ゜			0

＊「記号」で表示できる内容

□スペース(空白)	！	”	＃	＄	％	＆	’	（	）	＊	＋
，	－	．	／	：	；	＜	＝	＞	？	＠	＿
`											

お知らせ

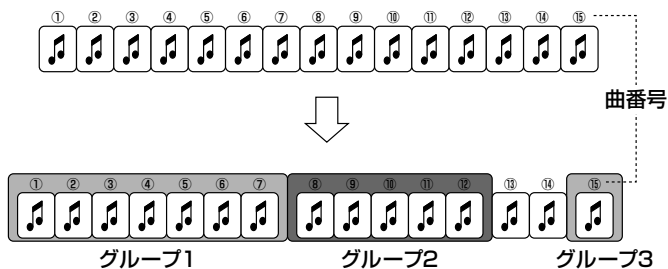
- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入れることができません。

編集する

MDをグループ編集する

本機にはMDの新しい機能、グループ機能があります。ここでは、グループとその編集について説明します。

MDのグループ機能とは

ステレオ長時間録音(MDLP)によって1枚のMDに、今までよりも多くの曲(トラック)が録音できるようになりました。MDのグループ機能は、曲(トラック)を最大99のグループに分けて登録することで、管理をより便利にするためのものです。

グループは、1曲(トラック)でも設定できます。また、連続する曲(トラック)をグループとして登録することができます。

MDのグループ機能には、次のものがあります。

- **グループ演奏**：1つのグループの曲(トラック)だけを演奏します(➡28ページ参照)。リピート演奏もできます。
- **グループ録音**：録音と同時に、複数の曲(トラック)をまとめて1つのグループとして登録できます(➡34ページ参照)。
- **グループタイトル**：ディスクや曲(トラック)と同じように、グループにもタイトルをつけたり編集したりすることができます(➡39ページ参照)。
- **グループ編集**：右の項目をご覧ください。

MDのグループ編集

MDのグループ編集は次の8つの機能があります。これらの機能は、GROUP TITLE/EDITを押すごとに、「GR TITLE?」に続いて呼び出されます。これらの機能を組み合わせて使うこともできます。ソース(音源)がMDのとき、リモコンで操作します。

- **「グループをつくる(FORM GR)」：**
  グループに属していない曲(トラック)から新しいグループを作ります。左の図で、13曲目と14曲目から4つめのグループを作ることです(➡43ページ参照)。

- **「グループに登録する(ENTRY GR)」：**
  曲をすでにあるグループに登録します。左の図で13曲目をグループ2に登録することです(➡44ページ参照)。

- **「グループを分ける(DIVIDE GR)」：**
  1つのグループを2つに分けます。左の図で、グループ1を2つに分けてグループ総数を4にすることです(➡44ページ参照)。

- **「グループをつなげる(JOIN GR)」：**
  2つのグループをまとめて1つにします。左の図で、グループ1とグループ2を1つのグループにまとめることです(➡45ページ参照)。

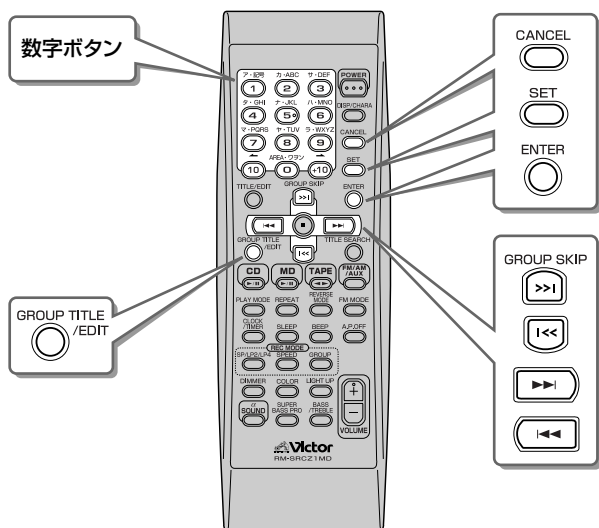
- **「グループを移動する(MOVE GR)」：**
  グループの移動をします。左の図で、グループ2をグループ1の前に移動させることです(➡45ページ参照)。

- **「グループを解消する(UNGROUP)」：**
  1つのグループを解消します。曲(トラック)の削除はしません(➡46ページ参照)。

- **「全グループを解消する(UNGR ALL)」：**
  すべてのグループを解消して、グループのない状態にします。曲(トラック)の削除はしません(➡46ページ参照)。

- **「グループを削除する(ERASE GR)」：**
  グループと共にグループ内のすべての曲(トラック)を削除します。左の図で、グループ2を削除すると、8曲目から12曲目までが削除されます(➡46ページ参照)。

〈お知らせ〉

- グループ分けされていないMDのときは、GROUP TITLE/EDITを押しても「FORM GR?」以外にはなりません。まずグループを作ってから他のグループ編集をしてください。

〈お知らせ〉

- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK MD」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏、グループ演奏になっているときに、GROUP TITLE/EDITを押しても編集モードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。「UTOC Writing」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたはGROUP TITLE/EDITを押すと、編集操作を中止することができます。

グループをつくる(FORM GR)

どのグループにも登録されていない連続した曲から新しいグループをつくります。1曲でもグループにすることができます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 GROUP TITLE /EDIT をくり返し押して「FORM GR?」を選ぶ

FORM GR ?

2 SET を押す

3 ⏭(または⏮)を押して新しいグループの先頭の曲を選び、SET を押す

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。

4 ⏭(または⏮)を押して新しいグループの最後の曲を選び、SET を押す

PUSH ENTER

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM」と表示され、次の手順に進めません。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、GROUP TITLE/EDITを押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**

「グループを解除する」(➡㊻ページ参照)の操作をします。

MDをグループ編集する(つづき)

グループに登録する(ENTRY GR)

曲を1つ選び、指定したグループの最後の曲として登録します。**登録したいグループにすでに登録されている曲は、登録できません。**
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「ENTRY GR?」を選ぶ**

ENTRY GR ?

2 SET **を押す**

TRK 1 ?

3 ⏭(または⏮)**を押してグループに登録する曲を選び、**SET **を押す**

GROUP -- ?

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 選んだ曲がグループに登録されていると、そのグループ番号が表示されます。

4 GROUP SKIP **(または)を押して登録先のグループを選び、**SET **を押す**

例：グループ2に登録するとき

GROUP 2 ?
↓
PUSH ENTER

- 演奏中は、選ばれたグループの曲がくり返し演奏されます。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、GROUP TITLE/EDITを押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- 登録ができないときは、「CANNOT ENTRY」と表示され、手順**4**に戻ります。

●もとに戻すときは

右の**「グループを分ける(DIVIDE GR)」**のあと**「指定したグループを解除する(UNGROUP)」**(➡㊻ページ参照)の操作をします。

グループを分ける(DIVIDE GR)

1つのグループを2つに分けます。新しくできる2つのグループのうち、後ろのグループの先頭の曲を指定します。グループ番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「DIVIDE GR?」を選ぶ**

DIVIDE GR?

2 SET **を押す**

3 GROUP SKIP **(または)を押して分けるグループを選ぶ**

例：グループ2を分けるとき

4 ⏭(または⏮)**を押してどの曲から分けるかを選び、**SET **を押す**

- 演奏中は、選ばれた番号の曲が演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

●もとに戻すときは

「グループをつなげる(JOIN GR)」(➡㊺ページ参照)の操作をします。

グループをつなげる(JOIN GR)

となりあう2つのグループを1つのグループにします。タイトルがついているときは、番号の小さい方のグループタイトルが残ります。グループ番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「JOIN GR?」を選ぶ**

JOIN GR ?

2 SET **を押す**

3 GROUP SKIP **(または)を押してつなげるグループの組を選び、**SET**を押す**

例：グループ3とグループ2をつなげるとき

連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「－－」と表示されます。

- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。
- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- グループの間に曲があったり、「－－」と表示されたままENTERを押すと、「CANNOT JOIN」と表示され、手順**3**に戻ります。

● もとに戻すときは

「グループを分ける(DIVIDE GR)」(➡44ページ参照)の操作をします。

グループを移動する(MOVE GR)

1つのグループを指定したところへ移動します。
グループ番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「MOVE GR?」を選ぶ**

MOVE GR ?

2 SET **を押す**

GR ←GR 1 ?

3 GROUP SKIP **(または)を押して移動させるグループを選び、**SET**を押す**

GR 1←GR 1 ?

4 GROUP SKIP **(または)を押して移動先を選び、**SET**を押す**

例：グループ1をグループ3の前に移動

GR 3←GR 1 ?

PUSH ENTER

- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、GROUP TITLE/EDITを押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

● もとに戻すときは

もう一度「グループを移動する(MOVE GR)」の操作をします。

MDをグループ編集する(つづき)

グループを解消する(UNGROUP/UNGR ALL)

指定したグループまたは全グループを解消して、曲のグループ登録をやめます。解消されたグループ内の曲は削除されません。グループ番号は、付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

指定したグループを解消する(UNGROUP)

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「UNGROUP?」を選ぶ**

UNGROUP ?

2 SET **を押す**

3 GROUP SKIP >>I **(またはI<<)を押して解消するグループを選び、** SET **を押す**

例：グループ 3 を解消するとき

GROUP 3 ?
↓
PUSH ENTER

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全グループを解消する(UNGR ALL)

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「UNGR ALL?」を選ぶ**

UNGR ALL?

2 SET **を押す**

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

3 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**
「グループをつくる(FORM GR)」(➡43ページ参照)の操作をします。

グループを削除する(ERASE GR)

グループをMDから削除します。削除されたグループ内の曲も同時に削除されます。グループ番号と曲番号は、付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「ERASE GR?」を選ぶ**

ERASE GR ?

2 SET **を押す**

3 GROUP SKIP >>I **(またはI<<)を押して削除するグループを選び、** SET **を押す**

例：グループ 3 を削除するとき

↓
PUSH ENTER

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

- 一度削除した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡8ページ参照)。

曲を編集する

曲(トラック)編集とは

- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「1曲を削除する」、「全曲を削除する」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK MD」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏、グループ演奏になっているときは、TITLE/EDITを押しても編集のモードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。「UTOC Writing」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたはTITLE/EDITを押すと、編集操作を中止することができます。

TITLE/EDITを押すごとに、「DISC TITLE?」に続いて次の5つの機能が呼び出されます。
- ソース(音源)がMDのとき停止中または演奏中に、リモコンで操作します。

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。

曲をつなげる(JOIN)

トラックマークを削除して、1つ前の曲とつなげることができます。

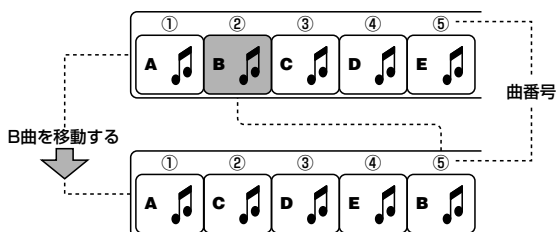
曲を移動する(MOVE)

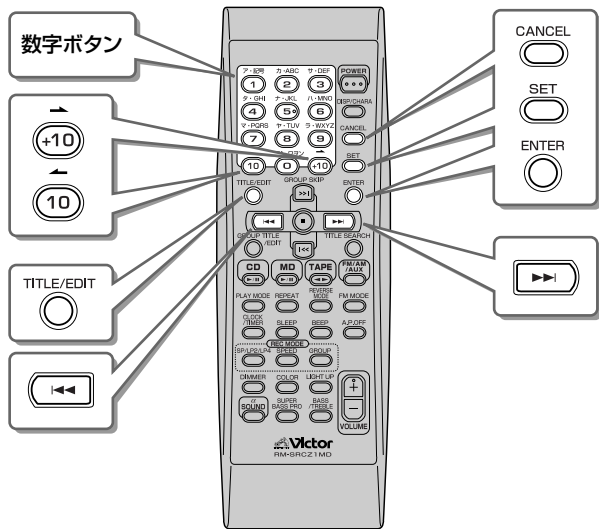
好きな順番に曲を入れ換えます。

1曲を削除する(ERASE)

不要な曲やナレーションなど、削除したい曲を指定して削除することができます。曲番号があらたにふり直されます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

全部の曲をすべて消去し、ブランクディスクにします。

〈お知らせ〉
- **トラックマークとは…**
  曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号(**トラックナンバー**)です。

編集する

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。
メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 TITLE/EDIT をくり返し押して「DIVIDE?」を選ぶ

DIVIDE ?

2 SET を押す

MDが停止中のときは、1曲目の演奏が始まります。
演奏中のときは、演奏が継続します。

3 ▶▶I(またはI◀◀)を押して分けたい曲を選ぶ

- 数字ボタン(1～10、＋10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 演奏中に ▶▶I を押し続けると、早送りできます。分けたいところを探すときに便利です。

4 曲を分けたいところでSETを押す

SETを押したところから3秒間(SP:標準モード時)がくり返し演奏されます。

POSITION
↓
0 OK?

- 希望どおりに分けられたときは、手順**6**に進みます。
- 分けたところをやり直すには、CANCELを押します。
- 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、手順**5**へ進みます。分ける場所が微調節できます。

5 ▶▶I(またはI◀◀)を押して微調節する

±128ポジション(約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。
- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。

6 SETを押す

- 途中でやめるときは、TITLE/EDITを押します。

7 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

● もとに戻すときは

「曲をつなげる(JOIN)」(➡㊾ページ参照)の操作をします。

● 曲を分けることができないMD

254曲録音してあるMDなどは、手順**7**でENTERを押すと「DISC FULL」が表示されます。

曲をつなげる（JOIN）

不要なトラックマークを取り除いて、連続する２曲を１曲にまとめることができます。１つ前の曲とつなげることができます。
JOINをすると曲番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 TITLE/EDIT ◎ **をくり返し押して「JOIN?」を選ぶ**

2 SET ⬭ **を押す**

3 ⏭（または⏮）**を押してつなげたい曲を選ぶ**

例：３曲目を２曲目とつなぐとき

表示は「１＋２？」「２＋３？」のように次々と変わっていきます。
- 数字ボタン（１～10、＋10）を押して、曲を直接選ぶこともできます。

4 SET ⬭ **を押す**

PUSH ENTER

- つなげる曲を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、TITLE/EDITを押します。

5 ENTER ◎ **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

● もとに戻すときは

「曲を分ける（DIVIDE）」（➡㊽ページ参照）の操作をします。

● つなげることができない曲またはMD

・録音モード（SP／LP２／LP４）の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」が表示されます。
・１曲しか録音されていないMDなどは、曲をつなげることができません。

曲を移動する（MOVE）

１つの曲を指定したところへ移動させます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 TITLE/EDIT ◎ **をくり返し押して「MOVE?」を選ぶ**

2 SET ⬭ **を押す**

3 ⏭（または⏮）**を押して移動したい曲を選び、SET ⬭ を押す**

表示は「 ← ２？」「 ← ３？」のように変わります。
- 数字ボタン（１～10、＋10）を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 曲を選び直すときは、CANCELを押します。

4 ⏭（または⏮）**を押して移動先の曲番号を選び、SET ⬭ を押す**

例：２曲目を７番目に移動する

PUSH ENTER

- 数字ボタン（１～10、＋10）を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 移動先の曲がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。
- 移動先の曲を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、TITLE/EDITを押します。

5 ENTER ◎ **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

● 曲の移動できないMD

・１曲しか録音されていないMDなどは、曲の移動ができません。

曲を編集する(つづき)

1曲を削除する(ERASE)

指定した曲を削除します。
曲番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 TITLE/EDIT ◎ **をくり返し押して「ERASE?」を選ぶ**

ERASE ?

2 SET ⬭ **を押す**

1 ERASE ?

3 ⏭ **(または⏮)を押して消したい曲を選ぶ**

表示窓に消したい曲の曲番号が表示されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。

4 SET ⬭ **を押す**

PUSH ENTER

- やりなおすときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、TITLE/EDITを押します。

5 ENTER ◎ **を押す**

指定した曲が削除されます。
「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

MDに録音されている曲をすべて削除して**ブランクディスク**にします。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 TITLE/EDIT ◎ **をくり返し押して「ALL ERASE?」を選ぶ**

ALL ERASE ?

2 SET ⬭ **を押す**

PUSH ENTER

- 途中でやめるときは、TITLE/EDITを押します。

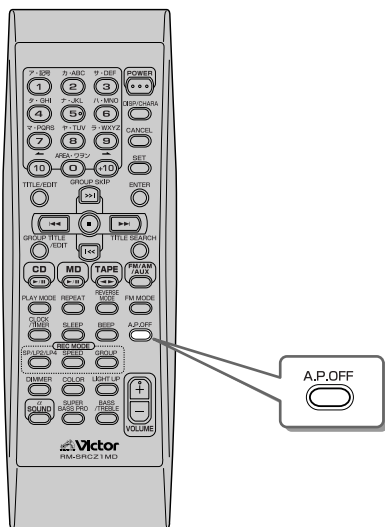
3 ENTER ◎ **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「UTOC Writing」が表示され、その後、「BLANK DISC」が表示されます。

ご注意

- 一度削除した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡8ページ参照)。

オートパワーオフ機能を使う

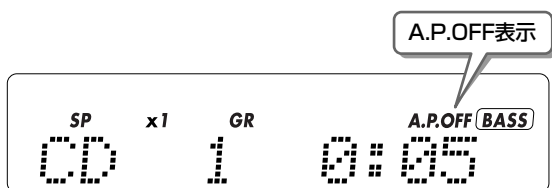
本機にはラジオ以外のソース（音源）の無音状態が 3 分以上続くと、自動的に電源が「**切**」になるオートパワーオフ機能があります。

1 A.P.OFF

◯を押す

A.P.OFF表示が点灯します。

A.P.OFF表示

SP x1 GR A.P.OFF BASS

CD 1 0:05

● **オートパワーオフを設定すると**

オートパワーオフ機能を設定すると、表示窓の**A.P.OFF**表示が点灯します。
オートパワーオフ機能が動作すると、表示窓の**A.P.OFF**表示が点滅に変わります。

● **オートパワーオフの動作**

CD、MDまたはテープを演奏または録音しているとき：
演奏または録音が終わると、オートパワーオフ機能が動作し、何の操作もせずに 3 分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。
3 分以内に演奏または録音の操作をしたときは、演奏または録音が終了してから再度オートパワーオフ機能が動作します。
演奏または録音以外の操作をしたときは、最後の操作が行われてから何の操作もせずに 3 分が経過すると、自動的に電源が「**切**」になります。

他の機器の音声を聞いているとき：
無音状態になるとオートパワーオフ機能が動作し、何の操作もせずに 3 分以上無音が続くと、自動的に電源が「**切**」になります。

電源が「**切**」になる20秒前になると表示窓の文字情報表示部に「**A.P.OFF**」と点滅表示されます。

● **オートパワーオフを解除する**

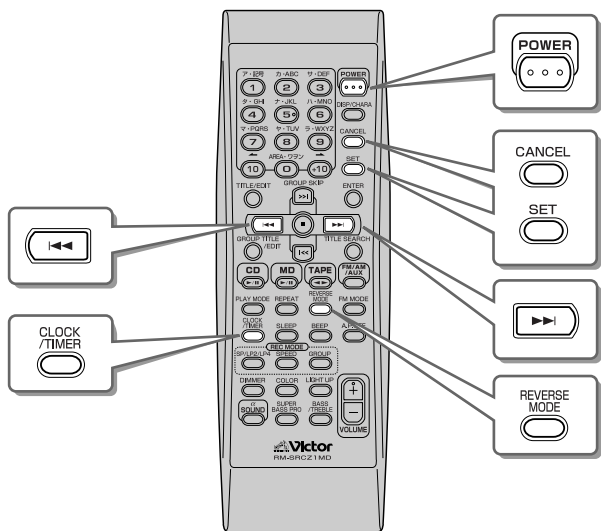
A.P.OFFをもう一度押します。
A.P.OFF表示が消灯します。

タイマーを使う

本機では、「**録音タイマー**」「**目覚しタイマー**」「**おやすみタイマー**」の３種類のタイマー機能を使うことができます。

タイマー操作をする前に　**タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください**(➡⑯ページ参照)**。**
●時計合わせをしていないと、タイマーの設定はできません。

録音タイマー（放送の留守録音）

留守中などに本機のラジオ番組を留守録音するときに使います。タイマー１～タイマー３まで合計３通りで使えます。
開始時刻（電源が「**入**」になる時刻）、終了時刻（電源が「**切**」になる時刻）、録音する放送局などを設定します。
EVERYDAYを選ぶと毎日動作し、**ONCE**を選ぶと設定後に１回だけ動作します。
・リモコンで操作します。
・電源「**入／切**」どちらの状態でも設定できます。

ご注意

●録音タイマーで**FM**または**AM**をソース（音源）に選ぶとき、あらかじめ放送局をプリセットしておく必要があります(➡⑰ページ「**市外局番で放送局を記憶させる（エリアガイド機能）**」参照)。

〈お知らせ〉
●タイマー１からタイマー３に「録音タイマー」または「目覚しタイマー」で設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
●「録音タイマー」と「目覚しタイマー」の開始時刻が同じときは、「録音タイマー」が優先します。
●タイマー１からタイマー３の開始時刻が同じときは、タイマー１が優先されます。
●タイマーがスタートしないことを避けるためタイマー１～３の開始時刻と終了時刻が重複しないように設定してください。
●電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「録音タイマー」または「目覚しタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

1 CLOCK/TIMER を押してTIMER 1～TIMER 3のいずれかを選ぶ

TIMER 1 ➡ TIMER 2 ➡ TIMER 3 ➡ 現在時刻（「時」表示点滅）➡ ソース（音源）の表示 ➡ TIMER 1

●設定済みのタイマーは「◷TIMER 1」のように表示されます。

2 SET を押す

●タイマーの開始時刻（「時」表示）が点滅します。
設定済みのときは、その開始時刻が表示されます。
●「録音タイマー」と「目覚ましタイマー」を合計３通りで使えます。

3 ▶▶|（または|◀◀）とSETでタイマーの設定をする

●設定をやり直すときは**CANCEL**を押します。
一つ前の設定戻ります。

MDに録音するとき　：録音用の**MD**を忘れずに入れておきます。

テープに録音するとき：録音用のテープ（ノーマルテープ）を忘れずに入れたあと、リバースモードを選んでおきます。

●タイマーの動作時間に対し、録音残量が十分あるか確かめてください。

①開始時刻の設定

▶▶|または**|◀◀**をくり返し押して「時」を設定し**SET**を押します。次に**▶▶|**または**|◀◀**をくり返し押して「分」を設定し**SET**を押します。
●**▶▶|**（または**|◀◀**）を押し続けると、連続して変わります。

例：開始時刻を午後１時15分にするとき

13:15➔ 0:00

②終了時刻の設定

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して「時」を設定しSETを押します。次に▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して「分」を設定しSETを押します。

- ▶▶❙(または❙◀◀)を押し続けると、連続して変わります。

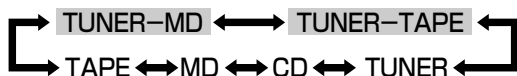
例：終了時刻を午後２時15分にするとき

③毎日使用か１日使用を選ぶ

▶▶❙または❙◀◀を押して「EVERYDAY(エブリディ)」または「ONCE(ワンス)」を選びSETを押します。

EVERYDAY：英会話などを毎日録音
↕
ONCE：１日だけの録音（通常はONCEをご利用ください）

④録音先(MDまたはTAPE)を選ぶ

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して「TUNER－MD」または「TUNER－TAPE」を選びSETを押します。
▶▶❙または❙◀◀を押すごとに、ソース(音源)が次のように換わります。

⑤放送(ラジオ)のバンドを選ぶ

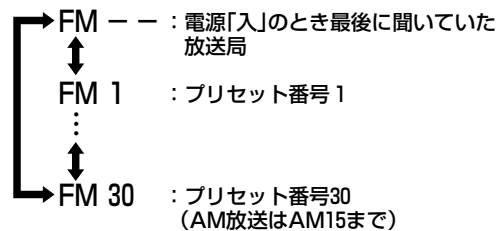
▶▶❙または❙◀◀押して「FM」または「AM」を選びSETを押します。

FM：FM放送
↕
AM：AM放送

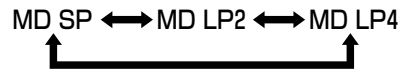
⑥録音したい放送局のプリセット番号を選ぶ

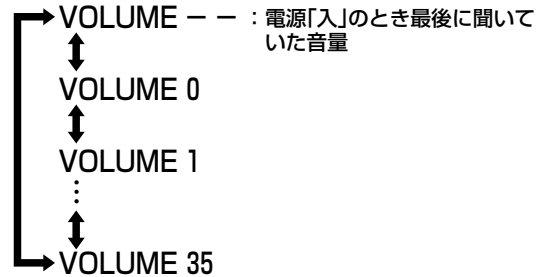
▶▶❙または❙◀◀押してプリセット番号を選びSETを押します。

例：FM放送を録音するとき

FM −−：電源「入」のとき最後に聞いていた放送局
↕
FM 1：プリセット番号１
⋮
↕
FM 30：プリセット番号30（AM放送はAM15まで）

- テープに録音するときは手順⑧へ進みます。

⑦MDの録音モードを選ぶ（MDに録音するときのみ）

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して録音モードを選びSETを押します。

⑧タイマー録音中のスピーカー音量の設定

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して音量を設定しSETを押します。SETを押すと録音タイマーの設定は終わりです。

- 「VOLUME　0」を選ぶと､タイマー録音中はスピーカーから音が出ません。

録音タイマーの設定が終わると
設定内容が一通り表示されます。

●電源「入」で設定したとき

4 POWER を押して電源を「切」にする

- 表示窓にREC◴表示と手順1で選んだタイマー番号（１～３）が点灯していることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になると録音タイマーがスタートし、終了時刻になると自動的に電源が「**切**」になります。
- EVERYDAYに設定すると、解除するまで毎日録音タイマーがスタートします。MDやテープの録音残量にご注意ください。

●録音タイマーを解除する

設定を解除するには、CLOCK/TIMERでTIMER１～TIMER３のいずれかを選びCANCELを押します。「TIMER OFF」が表示され解除されます。
REC◴表示とタイマー番号（１～３）が消えます。

●録音タイマーを再設定する

録音タイマーの設定内容は記憶されています。
再設定をするには、CLOCK/TIMERでTIMER１～TIMER３のいずれかを選びENTERを押します。
REC◴表示とタイマー番号（１～３）が点灯します。

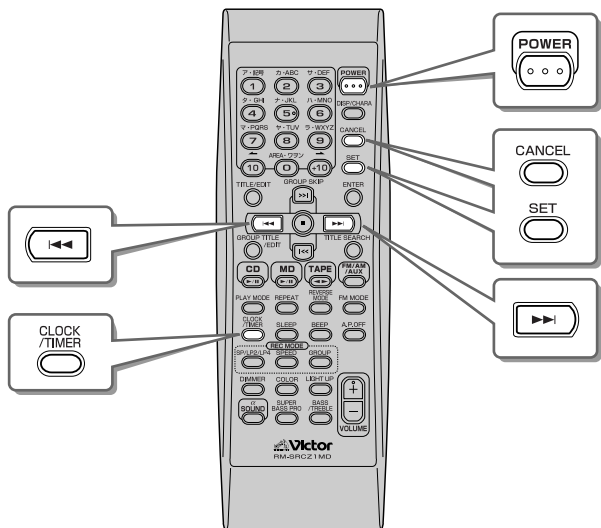
●MDのグループ録音の設定について

録音タイマーでMDに録音するとき、グループ録音の設定は、録音タイマーを設定する前または設定が終了してから行います。録音タイマー設定中は、GROUPを押しても設定を変えることはできません。

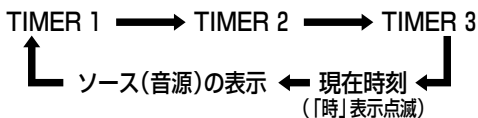
タイマーを使う（つづき）

目覚ましタイマー（タイマー再生）

「EVERYDAY」を選ぶと目覚ましのように毎日同じ時刻に動作します。
開始時刻（電源が「入」になる時刻）、終了時刻（電源が「切」になる時刻）、聞きたいソース（音源）、音量などを設定します。
タイマーが動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります（ウェイクアップボリューム機能）。

- **目覚しタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください（➡⑯ページ参照）。**
- リモコンで操作します。
- **電源「入／切」どちらの状態でも設定できます。**

〈お知らせ〉

- タイマー再生中のソース（音源）としてCDやMD、TAPEを選んだときは、それぞれ演奏用のCDやMD、テープの準備をしておきます（➡㉔㉚ページ参照）。
- CDやMDを選んだ場合、タイマー再生中にダイレクト演奏、プログラム演奏またはランダム演奏をすることはできません。

1 CLOCK/TIMERを押してTIMER 1～TIMER 3のいずれかを選ぶ

- 設定済みタイマーは、「⊘TIMER 1」のように表示されます。

2 SETを押す

- タイマーの開始時刻（「時」表示）が点滅します。
  設定済みのときは、その開始時刻が表示されます。
- 「録音タイマー」と「目覚ましタイマー」を合計 3 通りで使えます。

3 ▶▶I（または I◀◀）とSETでタイマーの設定をする

- 設定をやり直すときはCANCELを押します。
  一つ前の設定に戻ります。

①開始時刻の設定

▶▶IまたはI◀◀をくり返し押して「時」を設定しSETを押します。次に▶▶IまたはI◀◀をくり返し押して「分」を設定しSETを押します。

- ▶▶I（またはI◀◀）を押し続けると、連続して変わります。

例：開始時刻を午前 6 時30分にするとき

②終了時刻の設定

▶▶IまたはI◀◀をくり返し押して「時」を設定しSETを押します。次に▶▶IまたはI◀◀をくり返し押して「分」を設定しSETを押します。

- ▶▶I（またはI◀◀）を押し続けると、連続して変わります。

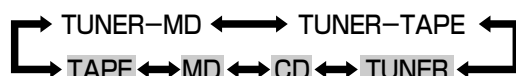
例：終了時刻を午前 7 時45分にするとき

③毎日使用か 1 日使用を選ぶ

▶▶IまたはI◀◀を押して「EVERYDAY（エブリデイ）」または「ONCE（ワンス）」を選びSETを押します。

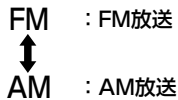
EVERYDAY ：毎朝タイマー再生
↕
ONCE ：１日だけタイマー再生

④タイマー再生中のソース（音源）を選ぶ

▶▶IまたはI◀◀をくり返し押して「TUNER～TAPE」のいずれかを選びSETを押します。
▶▶IまたはI◀◀を押すごとに、ソース（音源）が次のように換わります。

- 「CD」または「MD」を選んだときは、もう一度SETを押してから手順⑦へ進むと 1 曲目からの演奏になります。▶▶Iで最初に聞きたい曲（CDは99曲目、MDは254曲目まで）を選びSETを押してから手順⑦へ進むこともできます。
- 「TAPE」を選んだときは、手順⑦へ進みます。

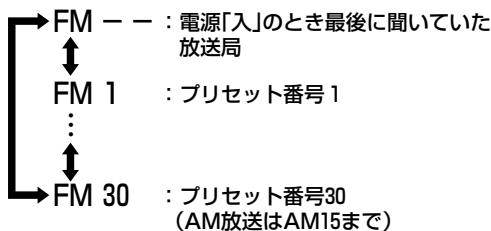
⑤放送(ラジオ)のバンドを選ぶ

▶▶❙または❙◀◀押して「FM」または「AM」を選びSETを押します。

FM ：FM放送
↕
AM ：AM放送

⑥聞きたい放送局のプリセット番号を選ぶ

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押しプリセット番号を選びSETを押します。

例：FM放送を聞くとき

FM －－ ：電源「入」のとき最後に聞いていた放送局
↕
FM 1 ：プリセット番号1
⋮
↕
FM 30 ：プリセット番号30（AM放送はAM15まで）

⑦タイマー動作中のスピーカー音量の設定

▶▶❙または❙◀◀を押して、タイマー動作中のスピーカー音量(VOLUME－－～VOLUME35)を設定しSETを押します。

SETを押すと目覚ましタイマーの設定は終わりです。

- 「VOLUME－－」を選ぶと、電源「入」のとき最後に聞いていた音量で演奏されます。

目覚ましタイマーの設定が終わると
設定内容が一通り表示されます。

- **電源「入」で設定したとき**

4 POWER を押して電源を「切」にする

- 表示窓に⊘表示と手順**1**で選んだタイマー番号(1～3)が点灯していることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になると目覚まし再生がスタートし、終了時刻になると自動的に電源が「**切**」になります。
- EVERYDAYに設定すると毎日目覚ましタイマーがスタートします。

- **目覚ましタイマーを解除する(休日前夜など)**

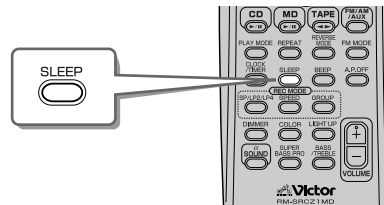
設定を解除するには、CLOCK/TIMERでTIMER 1～TIMER 3のいずれかを選びCANCELを押してください。「TIMER OFF」が表示され解除されます。⊘表示とタイマー番号が表示窓から消えます。

- **目覚ましタイマーを再設定する(出勤・登校の前夜など)**

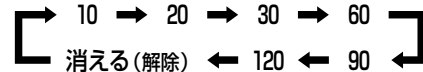
目覚ましタイマーを解除しても簡単に再設定することができます。
再設定をするには、CLOCK/TIMERでTIMER 1～TIMER 3のいずれかを選びENTERを押してください。⊘表示とタイマー番号が点灯します。

おやすみタイマー(SLEEP)

音楽や放送を聞きながら眠りたいときに使います。
電源を「**切**」にするまでの時間を設定し、おやすみください。
設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

- **おやすみタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡⑯ページ参照)。**
- リモコンで操作します。

1 SLEEP を押す

「SLEEP 10」と表示されます。ボタンを押すごとにスリープ時間が選べます。

10 ➡ 20 ➡ 30 ➡ 60
消える(解除) ⬅ 120 ⬅ 90

- およそ5秒間ボタンを押さないでいると、自動的に設定されます。表示窓がソース(音源)の表示に戻り、SLEEP表示が点灯になります。
- SLEEPタイマーを設定すると、オートディマー機能が働いて表示窓が暗くなります。

- **設定したスリープ時間を変更する**

・おやすみタイマー設定後にSLEEPを1回押すと、電源が「**切**」になるまでの**残り時間**が表示されます。
・設定を変更するときは、SLEEPをくり返し押して希望のスリープ時間を選びます。

- **おやすみタイマーを取り消す**

・スリープ時間の表示が消えるまで、SLEEPをくり返し押します。おやすみタイマーが解除されます。この場合、オートディマー機能は働いています。
・電源を「**切**」にしたときも、おやすみタイマーは解除されます。

- **おやすみタイマーでおやすみになり、目覚ましタイマーで目覚めるには**

1. 目覚ましタイマーを設定する(➡54～55ページ参照)
2. 聞きたいソースを演奏する
3. SLEEPを押してスリープ時間を設定する

- 設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になり、目覚ましタイマーの開始時刻で電源が「**入**」になります。

エリアガイドで選ばれる放送局の一覧

●エリアガイドで選ばれる放送局の一覧

AM放送の場合、エリアガイド機能により地域ごとに下記の周波数が呼出せます。

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	表示窓の表示とプリセットされている放送局の周波数(Pはプリセットのことです)								
			P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
011、0123～0129 0131～0136 0141～0149	北海道	札幌	NHK1 567kHz	NHK2 747kHz	HBC 801kHz	HBC 864kHz	NHK1 945kHz	NHK2 1,125kHz	HBC 1,287kHz	STV 1,440kHz	*
0150～0152 0157～0159	北海道	網走 北見	NHK2 702kHz	NHK2 747kHz	HBC 801kHz	STV 909kHz	NHK1 1,188kHz	HBC 1,449kHz	STV 1,485kHz	NHK1 1,584kHz	*
0153～0156	北海道	釧路	NHK1 585kHz	NHK1 603kHz	STV 882kHz	STV 1,071kHz	NHK2 1,125kHz	NHK2 1,152kHz	HBC 1,269kHz	HBC 1,404kHz	*
0137～0139	北海道	函館	NHK1 567kHz	STV 639kHz	NHK1 675kHz	NHK2 747kHz	STV 882kHz	HBC 900kHz	HBC 1,269kHz	NHK2 1,467kHz	*
0160～0169	北海道	旭川	NHK1 621kHz	NHK2 747kHz	NHK1 792kHz	NHK1 837kHz	HBC 864kHz	NHK1 927kHz	STV 1,197kHz	NHK2 1,602kHz	*
0172～0179	青森	青森	NHK2 774kHz	NHK1 963kHz	NHK1 999kHz	RAB 1,233kHz	RAB 1,485kHz	*	*	*	*
018 0182～0189	秋田	秋田	NHK2 774kHz	ABS 936kHz	NHK1 1,503kHz	*	*	*	*	*	*
019 0190～0199	岩手	盛岡	NHK1 531kHz	IBC 684kHz	NHK2 774kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*
022 0220～0229	宮城	仙台	NHK1 891kHz	NHK2 1,089kHz	TBC 1,260kHz	*	*	*	*	*	*
023 0233～0239	山形	山形	NHK1 540kHz	NHK2 774kHz	YBC 918kHz	NHK1 1,368kHz	*	*	*	*	*
024 0240～0249	福島	郡山	NHK2 693kHz	NHK1 846kHz	RFC 1,098kHz	RFC 1,458kHz	*	*	*	*	*
025 0250～0259	新潟	新潟	NHK1 792kHz	NHK1 837kHz	BSN 1,062kHz	BSN 1,116kHz	BSN 1,530kHz	NHK2 1,593kHz	*	*	*
026 0260～0269	長野	長野	NHK1 540kHz	NHK1 621kHz	NHK2 693kHz	NHK1 819kHz	SBC 864kHz	SBC 1,098kHz	*	*	*
027 0270～0279	群馬	前橋	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	*	*	*	*
028 0280～0289	栃木、茨城	宇都宮	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	CRT 1,530kHz	*	*	*
029 0290～0299	茨城	水戸	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	IBS 1,197kHz	ニッポン 1,242kHz	IBS 1,458kHz	*	*
03、042～048 0421～0499	東京、神奈川 千葉、埼玉	東京	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	AFN 810kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	ラジオニホン 1,422kHz	*	*
052、0521～0529 0531～0536	愛知	名古屋	NHK1 729kHz	NHK2 909kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	SBS 1,404kHz	GIFU 1,431kHz	*	*	*
053、054 0537～0549	静岡	静岡	NHK2 639kHz	NHK1 882kHz	SBS 1,404kHz	*	*	*	*	*	*
0551～0557	山梨	甲府	NHK2 693kHz	YBS 765kHz	NHK1 927kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	*	*	*
0550 0558～0559	静岡	沼津	NHK2 639kHz	NHK1 882kHz	SBS 1,404kHz	SBS 1,557kHz	*	*	*	*	*
058 0561～0589	愛知、岐阜	岐阜	NHK1 729kHz	NHK1 792kHz	NHK2 909kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	GIFU 1,431kHz	*	*	*
058 0592～0599	三重	津	NHK1 729kHz	NHK2 828kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	*	*	*	*	*
06 0720～0729	大阪	大阪	AM KOBE 558kHz	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*
073 0734～0739	和歌山	和歌山	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	WBS 1,431kHz	*	*	*

- ✱印の欄および**P10～P15**には放送局がメモリーされておりません。お好きな放送局をご自分でプリセットすることができます。➡㉓ページ「放送局を選んで記憶させる」を参照
- 放送局名は表示窓に表示されます。

● エリアガイドで選ばれる放送局の一覧

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	表示窓の表示とプリセットされている放送局の周波数(Pはプリセットのことです)								
			P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
075 0740～0759	京都 奈良、滋賀	京都	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*	*
076 0761～0762	石川	金沢	MRO 1,107kHz	NHK1 1,224kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*	*
0763～0766	富山	富山	NHK1 648kHz	KNB 738kHz	NHK2 1,035kHz	*	*	*	*	*	*
0760 0767～0769	石川	七尾	NHK1 540kHz	MRO 1,107kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*	*
077 0771～0775	京都、滋賀	大津	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	KBS 1,215kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*
0770 0776～0779	福井	福井	FBC 864kHz	NHK1 927kHz	NHK2 1,521kHz	*	*	*	*	*	*
078 0790～0799	兵庫	神戸	AM KOBE 558kHz	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*	*
082、0823～0826 0828～0829	広島	広島	NHK2 702kHz	NHK1 1,071kHz	RCC 1,350kHz	*	*	*	*	*	*
083 0832～0839 0820、0827	山口	山口	NHK1 675kHz	KRY 765kHz	KRY 918kHz	NHK2 1,377kHz	AFN 1,575kHz	*	*	*	*
0840～0849	広島	尾道	NHK1 999kHz	RCC 1,530kHz	NHK2 1,602kHz	*	*	*	*	*	*
0851～0856	島根	松江	BSS 900kHz	NHK1 1,296kHz	BSS 1,431kHz	NHK2 1,593kHz	*	*	*	*	*
0857～0859	鳥取	米子	BSS 900kHz	NHK1 963kHz	NHK2 1,125kHz	NHK1 1,368kHz	BSS 1,431kHz	*	*	*	*
086 0863～0869	岡山、広島	岡山	NHK1 603kHz	NHK2 1,386kHz	RSK 1,494kHz	*	*	*	*	*	*
087 0875～0879	香川	高松	NHK2 828kHz	NHK2 1,035kHz	NHK1 1,368kHz	RNC 1,449kHz	*	*	*	*	*
0883～0886	徳島	徳島	NHK2 828kHz	NHK1 945kHz	JRT 1,269kHz	*	*	*	*	*	*
0880 0887～0889	高知	高知	RKC 900kHz	NHK1 990kHz	NHK1 999kHz	NHK2 1,152kHz	RKC 1,197kHz	*	*	*	*
089 0892～0899	愛媛	松山	NHK1 846kHz	NHK1 963kHz	Nancy 16 1,116kHz	NHK2 1,512kHz	*	*	*	*	*
092、093、0920 0930、0940~0949	福岡 長崎	福岡	NHK1 612kHz	NHK2 1,017kHz	RKB 1,278kHz	KBC 1,413kHz	*	*	*	*	*
0951～0955	佐賀	佐賀	NHK1 612kHz	NHK2 873kHz	NHK1 963kHz	RKB 1,278kHz	KBC 1,413kHz	NBC 1,458kHz	*	*	*
0950、095 0956～0959	長崎	長崎	NHK1 684kHz	NHK2 873kHz	NHK1 981kHz	NBC 1,098kHz	NBC 1,233kHz	*	*	*	*
096 0964～0969	熊本	熊本	NHK1 756kHz	NHK1 846kHz	NHK2 873kHz	RKK 1,197kHz	NHK1 1,341kHz	*	*	*	*
097 0972～0979	大分	大分	NHK1 639kHz	NHK2 873kHz	OBS 1,098kHz	NHK2 1,467kHz	*	*	*	*	*
0982～0987	宮崎	宮崎	NHK1 540kHz	NHK1 621kHz	NHK2 873kHz	MRT 936kHz	OBS 1,098kHz	NHK2 1,467kHz	*	*	*
098、0980 0988～0989	沖縄	那覇	NHK1 540kHz	NHK1 549kHz	AFN 648kHz	RBC 738kHz	ROK 864kHz	NHK2 1,125kHz	*	*	*
099 0991～0999	鹿児島	鹿児島	NHK1 576kHz	NHK1 792kHz	MBC 1,107kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*

〈お知らせ〉

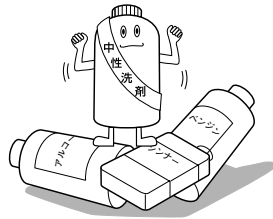
● 市外局番が変更になったときは、変更前の市外局番を入力してください。

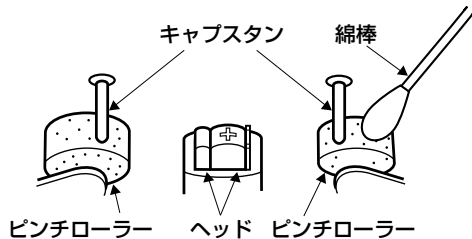
お手入れ

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

お願い

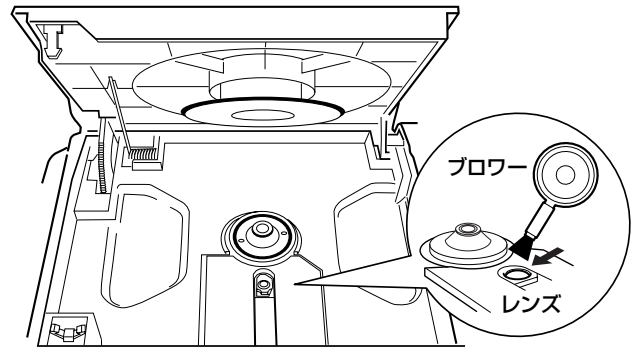
- **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

テープデッキのヘッド部の清掃

音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

・市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

CDプレーヤーのレンズの清掃

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。

CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

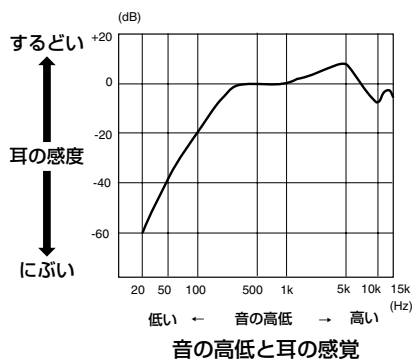
- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使ってゴミをはき出してください。

- 万一、指紋などが付いているときは綿棒で軽くふいてください。

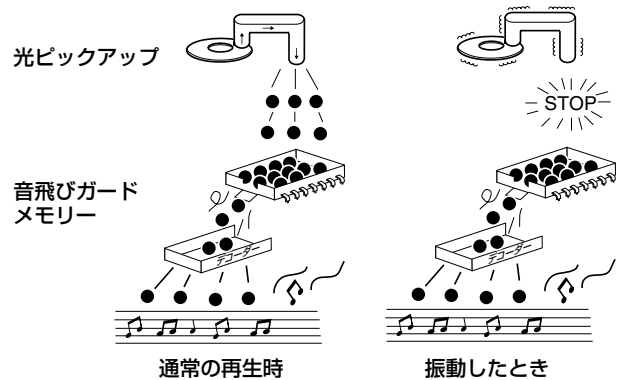
MDの技術解説

ATRAC(Adaptive Transform Acoustic Coding)

(アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング)

音の中には、実際にはよく聴こえない音が混ざっています。例えば、音が小さいときは低音や高音は聴こえにくくなります。また、大きい音と同時または直後に小さい音が鳴ってもその音は聴こえません。MDでは、〔ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding)〕という技術を使って、こうした人間の聴感特性に基づき音を取捨選択することによりデータを小さく圧縮しています。この技術により、記録するデータは元のデータの約1/5の量になり、小さなMDにも収めることが可能となりました。さらにATRAC 3 の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

音の高低と耳の感覚

音飛びガードメモリー

MDを再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能「音飛びガードメモリー」が働いています。この機能により、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合に「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープやDATとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。 （録音可能な最大トラック数は254曲まで）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、１曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて8秒以下(SP：標準モード時)の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP：標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

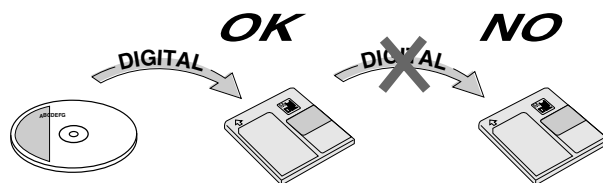
MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)

（シリアル　コピー　マネージメント　システム）

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎03−5353−0336（代）

ご注意
この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器でデジタル録音することはできません。

4倍速録音に関して(HCMS)

録音用MDは等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDから一度４倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の４倍速録音はできません。
例えば、CDの1曲目を４倍速録音した場合、４倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに４倍速で録音することはできません。また、CDから４倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で100曲以上録音することはできません。99曲までの録音をすることができます。

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…
修理に出す前にもう一度お確かめください。—

	症状	原因	処置・確認のしかた	参照ページ
共通部	音がでない。	・ヘッドホンがつながれている。	・ヘッドホンのプラグを抜く。	15
	表示窓の時刻表示が点滅している。	・20分以上の停電があったため。または電源コードを抜いたため。	・時計合わせやタイマーの予約をし直す。	16
CDプレーヤー部	演奏が始まらない。	・CDが裏返しに入っている。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。	24
		・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。	7
	特定の個所が正常に演奏できない。	・CDにキズがある。	・CDを交換する。	•
MDレコーダー部	演奏が始まらない。	・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。	7
	4倍速録音ができない。	・CDのプログラム演奏、ランダム演奏、リピート演奏になっている。	・等速録音(×1 SPEED)にする。	35
	編集操作ができない。	・プレイモード(PRGM、RNDまたはGR)がオンになっている。	・リモコンのPLAY MODEボタンを押してプレイモードを解除する。	26
テープデッキ部	再生音が小さい。	・ヘッドが汚れている。	・ヘッドを清掃する。	58
	TAPE RECボタンを押しても録音状態にならない。	・カセットの誤消去防止用のツメが折れている。	・セロハンテープなどでツメの穴をふさぐ。	9
チューナー部	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	・アンテナの調節が悪い。	・アンテナの調節をし直す。または設置場所を変える。	14
		・テレビやOA機器がそばにある。	・テレビやOA機器などから離す。	•
タイマー部	タイマーがスタートしない。	・現在時刻が合っていない。	・正しい時刻に設定し直す。	16
		・タイマー表示(◴)が表示されていない。	・リモコンのCLOCK/TIMERボタンを押してタイマー表示(◴)を表示させ、再設定する。	55
リモコン	リモコン操作ができない。	・リモコンの乾電池が消耗している。	・新しい乾電池(単3形)と交換する。	13
		・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	・直射日光や照明器具などの強い光が当たらない所で操作する。	13

●上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

●大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

お願い

●本機の故障または不具合等により録音、再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

●MD(ミニディスク)のメッセージ表示一覧

メッセージ	意　　味	処　　置
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	新しく録音するとき以外は、他の録音済みのMDと取り換えてください。
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲または8秒以下(SP:標準モード時)の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
	離れているグループをつなげようとした。	➡45ページ参照
READ ERROR	MDが異常（損傷している)。	MDを取り換える。
DISC FULL	MDの空き時間が足りない。 曲番号が254を超える。 (254曲まで録音可能)	他の録音用MDと取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にする。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■(停止)ボタンでいったん停止してから操作しなおしてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON AUDIO CANNOT COPY	CD-ROM（ビデオCDなど）をデジタルダビングしようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK MD	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDと取り換えてください。
TRACK PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除します。
SCMS CANNOT COPY	デジタルダビングのコピーのコピーを作ろうとした。	自動でアナログ録音に切換わります。 ➡34ページ参照
HCMS CANNOT COPY	4倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再録音(4倍速)しようとしたため。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待つかまたは等速録音にしてください。
CANNOT LISTEN	4倍速録音中に音量・音質調節をしたため	4倍速録音中は､CDの演奏音が出ません。終わるまで待ってください。
GROUP TRACK	すでにグループに登録されている曲を選んでグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでグループを作る。
CANNOT ENTRY	すでに登録されているグループに登録しようとした。	登録先のグループを正しく選ぶ。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

CD-MDポータブルシステム補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後６年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または63ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

60ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきま

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎(　　)　　－

別売のオプション品

・ヘッドホン：HP-S35
・オーディオミキサー：MI-A40
・電源コード：CN-325A（長さ1.8m）
・アンテナコネクター：VZ-71A（75Ω/300Ω）
・接続コード：CN-201A（AUX IN端子の接続用）
CN-203A
・CDレンズクリーナー：CL-CDLA
・MDレンズクリーナー：CL-MLA
・FMフィーダーアンテナ：CN-511A（300Ω）

■別売のオプション品はお買い上げの販売店でお求めください。
■この製品の製造時期は本体の底面に表示されています。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)673-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越 S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋 S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場
栃木	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
	土浦 S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル１Ｆ
	沼津 S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.C.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売（株） 松江 S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0703

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様 ―本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。―

〈CDプレーヤー部〉

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

〈MDレコーダー部〉

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間	録音モードSP：80分 LP2：160分 LP4：320分 （MD80使用）
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3（MD **LP**）方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

〈チューナー部〉

受信周波数	FM：76.0MHz〜108.0MHz AM：531kHz〜1,629kHz
アンテナ	FM：75Ω不平衡型／ロッドアンテナ AM：ループアンテナ

〈テープレコーダー部〉

トラック方式	コンパクトカセット・ステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去（2ギャップフェライト） 録音・再生（ハードパーマロイ） コンビネーション×1
早巻時間	約200秒（C-60）
周波数範囲	ノーマルテープ ：60Hz〜12.5kHz（JEITA）

〈タイマー部〉

タイマー形式	3プログラム動作（オン・オフタイマー）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120分（ディマー機能付）
時計表示	24時間表示

〈共通部〉

スピーカー	8cm（丸形×2）、4Ω
入力端子	AUX（ステレオミニ×1）、500mV 入力インピーダンス49kΩ
出力端子	PHONES（ステレオミニ×1）、 15mW/32Ω 適合インピーダンス16Ω〜1kΩ
実用最大出力	4W＋4W（JEITA/AC）
電源	AC100V（50Hz/60Hz共用）
消費電力	電源 入（ON）時28W 切（STANDBY）時0.9W
最大外形寸法	幅416mm×高さ178mm×奥行254mm
質量	約5.5kg

● JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
・本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

・リモコン（RM-SRCZ1MD）……………………………… 1
・単3形乾電池（リモコン動作確認用）……………… 2
・電源コード（長さ1.5m） ……………………………… 1
・AMループアンテナ ……………………………………… 1

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
63ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は ☎ (03)5684-9311 FAX (03)5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0503 MOMOZKJEM